でこれにソ連を加えて八ヵ国、 ア、ユーゴ、チェコ、ドイツ、ハン 招待されたのはポーランド、ブル :国はいくら新聞をさがしても出 イタリアのアルピニストたち

ての光景といわれる。 近くが集ったらしい。

九ヵ国の国旗がひるがえり、四〇〇名

有史以来はじ

の著者エフゲニー・ベレッキーは六〇

ワノ・ガウストフとユーゴのリー

最年長者はイタリ

アのジョワン

七年に登頂した「ピーク・レーニン」

立てようというもので、アライ谷には ニンを記念するオベリスクを、頂上に ダ」という形で挙行された。

七月末から八月末にかけて、ピーク

ニン(七一三四m)に登り、

V

連各界でくりひろげられているが、

「第一回国際アルピニアー

その後一週間に登るものは登って、

建国五〇年祭のいろいろな行事がソ

バッジ

☆アルピニアーダ☆ -USSR-建国 50 年祭

Erich Vanis を隊長にして、 【編者注・ぬけているのは多分、

こういう現象はソ連では

二人の登山家が招待されているらし

の日には後続二班五〇名余りが登頂し い金属のオベリスクをくみ立てる。そ ナス二〇度前後の風雪がつづく八月中 天候はあまりかんばしくなく、 イワン・ボガチェフの先頭班が頂 、約三時間のがんばりで冷た

んどのアルピニアーダはたいへんな成年間に登頂した者五一三名だから、こ のアルピニスト四九名。昨年まで三九登頂した者三○一名、そのうち外国 功をおさめたわけだ。 アルピニアードはぶじに終った。 老ヴェテランもかなり参加した。三 登頂した者三〇一名、

っていたという。

が一挙に七○名も参加して、 ム教官学校で彼のおしえを受けた弟子

異彩を放

その詳細やドラマチックな英雄的な行

為が知らされ

七月の中旬、

カザフのアルピニスト

んどが三度目の登頂だが、

アルピニズ

「雲上の献身的行為」

E

手術はたった今しがた終っ

コフ・アルキンは五五歳で、

V・アバラコフ設計

オベリスク

連登山隊の 集団 俊

より成る遠征隊はソ連の最高峰である

行

コミュニズムの攻撃に出発し

て懇親会十一月十二日山行◎八紘嶺往

遠征隊はパミールの最高峰ピーク・コ ばソ連カザクのアルビニストより成る ュニズム(七四九五m)で雪崩によ 月6日付 四六〇〇メートル付近からへ 「イズベスチャ」によれ

三つの

キャンプを設営した。高度四六

七月二三日、目指すピークの途上に

〇〇メートルに第一キャンプ、

ルに第二キャンプで、

救出されドシャンベの病院に収容され リコブターの十二回の往復により全員 本文は次のとおり。 負傷者二四名、 一名を出

の問題について考えたいと思います。 理院の五百沢智也氏をお招きして、こ 究をしておられた高橋喜平氏と国土地 第二三八回現地小集会 長年国鉄で「なだれ」の研 堀田弥一氏・関根吉郎氏高橋喜平氏・五百沢智也氏 本体育協会集会室

同駅に帰るまでの一切の費用)▽定員 (日) ▽ところ 静岡県・梅ケ島温泉 (第十回紅葉会 静岡支部) き ▽申込 本会静岡支部へ 二、四〇〇円(静岡駅から 十一月十一日梅ヶ島温泉に 十一月十一日(土)

会

昭和42年(1967年) 10月号 (No. 268)

本山岳 \Box (J. A. C.)

ソ連の登山界………… 1 Alpiniada…袋 一平

集団遭難…田村俊介 国内関係

新潟県8月28日水害…五十嵐 力…3 南北アルプス断片……松 崎 中 正… 4 北海道便り …… 4

新妻 徹·塩村省三·高沢光雄

海外関係

Lun kho 登頂

アラスカを走る 藤田 博… 2 白 稜 会… 6 アンデスの記録 Columbia Andes 山本良三…6 Hindu Kush-I-Hindu Raj を探る 高橋善数…7 Buni Zom 山塊 宫森常雄… 8

岡本竜行…8 会 員 通 信………9 安川茂雄・関田美智子・水田健之輔 坂本真生·松沢憲夫·松崎中正· 広島大学隊

図書紹介……10 わが半生の山々 (望月達夫) 切手=世界の山めぐり(日 高 生) 寄贈受入図書雑誌(内外) ………10

会務関係

第5回海外登山技術研究会 ……15 ルーム改装移転報告 ………11 ルーム使用規定の変更12 U I A A 加盟の件······12 各支部総会報告 ………16

富山支部・信濃支部・福島支部・ 石川支部·宮域支部·関西支部· 秋田支部・山梨支部・熊本支部・

越後支部・山形支部・東九州支部 会務報告12 会員異動………18 新入会員19

*常さんの碑。の除幕 ……… 3

計報・連作短歌 (広瀬誠) ………15 お知らせ (1-3-5-6-7)

Обелиск на Памире



Отныне этот обелиск будет вечно стоять на вершине пика

(Репортаж нашего специального корреспондента о международной альпиниаде читайте на 4-й стр.).

なだれに関するシンポジ

第二三七回小集

お

知

6

世

行ないます。紅葉の見頃でもあります

大いに南アルプスを楽しんで下

南アルプス南麓での集いを、

今年も

十月二十五日(水)6時30

導委

員

会上

ではあと一息だった。 〇メートルに第三キャンプを、 その夕方信号を交して、アルビニス 頂上ま

ト達はテントに入り深い眠りに落ち

を推測し得なかった。 勇敢な男達は襲いかかろうとする危険 高度五七〇〇メートルにいた八名の

☆ アラスカを走る!

ランプで現場を照しながら急いで救出 の信号が打ち上げられた。そして電気 が引き起されたのだ。雪崩は勇敢な男 にあたった。 た。そこでうめき声を聞きつけ、警報 大波は第二キャンプの近くでおさまっ 氷にもまれながらおし流された。雪の も彼等は恐しい雪崩に巻き込まれ岩や 勢いで下へ運んだ。五〇〇メートル 達を渦巻の中に引っぱり込み、恐しい 直夜中頃、鈍い響を耳にした。雪崩

スカや、

ユーコンに行かれる方の、ご

たので、今後アラ

急に苦しんでいる遭難者を後送せねば ドシャンべで警報の電報がとんだ。早 メートルを一歩一歩注意深く下った。 ビニストが救援にかけつけた。七〇〇 夜明けから苦しむ負傷者達を肩にはこ 掘り出され、テントに運び込まれた。 んだ。遭難を知ったリトアニアのアル 夜が明けるまでに傷だらけの仲間が

勇気ある男アルマアタのメリニコフと 遭難者は全員救出された。負傷者は二 い一二回の飛行を彼はやってのけた。 ニアミン・カローシンに立った。 らの申し出があった。白羽の矢はヴェ と。救出の飛行に十名のバイロットか どいた。早急に遭難者を救出するこ りにも重傷だった。彼等の救命はもう レーニングラードのエゴーロフはあま 院に収容されている。愁傷にも二人の 四人だった。今は全員ドシャンベの病 モスクワの民間航空省より電報がと 四六〇〇メートルの高度へ先例のな

(ヴ・ラツェク・ゲ・ジモフ)

田

1967年日米合同 ラスカ登山隊

カ登山について た。私はこの全期 よる旅を試みまし の前後に自動車に 部の隊員は、登山 たが、登山隊の一 号にて報告しまし は、すでに二六五 に、めぐまれまし 間を車で走る機会 私たちのアラス

車の値段は、右のように訂正します) 支払い、合計八八〇ドルの車で、早春 購入し、 員九名)を、シアトルで四五○ドルで のシアトルを出発、次のように約一万 れと整備代を加えて、別に四三〇ドル ヤ二本、バッテリーを新品と交換、こ 五九年型ワーゲンのマイクロバス(定 参考になれば幸いと、拙文を送ります。 マイルを走りました。(会報二六五号の []往路(北上)三月二十五日—三十日 まづ私たちの行動を説明しますと、 メンバー、日本隊四名、アメリカ隊 一名(P. Haase)計五名。 普通タイヤ四本、スノータイ

ロアラスカ調査旅行五月十八日―三十 日メンバー、日本隊のみ四名。 は、ほとんど走り廻る。 として、自動車道の通じている処 Fairbanks と Anchorage を中心 laska & Yukon)-Northway Creek-Whitehorse-Boundary (A Seattle-Prince George-Dawson

三帰路(南下)五月三一日一六月六日 awson-Whitehorse-Dawson Cr-Northway-Tok Junction-Eagle-メンバー、日本隊のみ三名。 Boundary(Alaska & Yukon)-D-

日車の入手方法について

七回、特に帰り道では、 ピストンの頭に穴があくという大きな ぎて、エンヂンのバルブが焼き切れ、 出の多い車の旅でした。 事故を起し苦労しましたが、

CⅢから見た Mt. Kobe (4389m)

処分したときは、一〇〇ドルにしか売

○○ドル、シアトルに帰ってきて車を

で五四セントで、私たちの車は、一ガ れませんでした。 を書いていきますと、 ロンで二〇マイル走りました。 り三五セント、最も高いノースウエイ さて、細部にわたり思いついたまま ガソリン代はシアトルで、ガロン当

eek-Jasper-Banff-Spokane-Sea-

故障で修理工場に入ること 一面思い

旅行中に支払った修理代は、合計三

るか、シアトルのような南の都市で買 ーゲンの専門店、使用後も同じ店で売 ます。(アラスカは車が高い) って、アラスカで売るのがよいと思 中古車販売店で求め(ワーゲンならワ ②の場合は、やはりその車種の専門

後も引き取らすのがよいようです。 し、責任をもって整備もやらし、使用 に売りましたが、これは失敗でした。 接ワーゲンを買い、売る時は中古車店 くまで購入した店でやらすことです。 備だけは十分に金を入れて、納得のい 私は新聞広告を見て、使用者より直 購入する車は、ボロ車でよいが、整 見知らぬ土地では、業者より購入 売るときに、値段をたたかれました。

るのかと、案じ顔の者もいましたが、 で悪名高いアラスカハイウエイを走れ るようになっています。 ンドがあり、そこは簡単な修理が出来 やユーコンでも、処々にガソリンスタ 案ずるより産むがやすしで、 私たちの隊員の中にも、このボロ車 アラスカ

た。どこの国でも田舎の人は親切であ リンスタンドまで引っ張ってもらっ エンストを起して手に負えないとき 時たま走る車を止めて、次のガソ

②私たちのように中古車を買って、 ①レンタカーを借りる。

ルの料金。なおガソリンやオイル代及 セント)とられる。()内はシアト で、ほかにマイル当り十二セント(十 六人乗りで、一日十二ドル(十ドル) 及びシアトルでの料金は、フォードの レンタカーをやっています。アラスカ Fairbanks では、ハーツなど数社が よく、アラスカの Anchorage や、 び保険料は会社負担です。 短期間の場合は、①のレンタカーが ③日本より車を海上輸送する。

るのがよいでしょう。 長期間にわたる場合は、 ②か3によ

よくけん引してくれる。お礼に出した る。東洋よりはるばる来た私たちを心 慢の話に花が咲くといった具合であ 日本の熱い緑茶とヨウカンに、 お国自

のローブもお忘れなく。 て積みこんでおくこと。またけん引用 ない処があるので、食糧は余裕をもっ ルほどガソリン・スタンドも、人家も が書いておられるように、一〇〇マイ アフリカの砂漠を走るのとは、事情 しかし、本会報二四六号に芳野さん

りそうな時は、③をとるのがよいと思 か打つ手はある。必要なのは、 が違う。エンコをしても、一一二時間 す。②とくらべて同じ位の費用がかか ら運んだ方がよかったと反省していま も待っていると車が通る。そして何と ○○CC級のワゴン型の車を、日本か を楽しめる心のゆとりである。 ③もよい方法です。私はいま、二〇 エンコ

場で、整備した車の方が信頼がおけま むずかしいし、関税の問題もあるの で、さしつかえありません。ただ、右 は、心の晴れやかなことだと思います。 す。さらに外国で日本の車に乗るの で、日本に持ち帰る計画が、 ハンドルの車を北米で売却するのは、 右ハンドルのまま、北米に持ち込ん 日本で平素親しくしている自動車工 無難と思

口保険について

くれませんでした。 の保険会社は、自動車保険を契約して た日本の国際免許証では、シアトル これが問題です。私たちの持ってい

対人八千万円、対物二百万円に入りま 転歴十年)が運転することを条件に、 儀にして、前記の Haase か、私(運 石田さんのご好意で、車は石田氏の名 在シアトルの神戸市貿易事務所長の た。これは石田氏の二台目の車とい

(

る保険には入りませんでした。 し、私たちのマイクロバスをカバーす カバーして、二二ドルでした。しか うことで、保険料は安く、三ケ月間を

る場合は、日本のディーラーと十分打 のも一案と思います。日本から輸送す き、この保険が一番の難物です。 せんが、自己所有の車を運転すると 免許証で保険もOKで、問題はありま に保険契約の交渉まで、責任を持たす 中古車を購入する場合は、その業者 レンタカーを使用するときは、国際

険がなければ、監獄行きは間違いあり を持つことです。人身事故を起して保 は、レンタカーに変更するだけの余裕 す。どうしても保険契約の出来ない時 運転するということは、危険千万で とに角、アメリカで保険なしの車を

三道路標識と右側通行について

骨の折れるものです。 しながら英語を読むことは、なかなか 声を出して標識を読みました。運転を 私たちは馴れるまで、助手席の者が

中の交叉点では、つい左側通行の癖が すことを、私たちはつとめました。 交叉点で助手が「右側通行」と念をお 出ますので、ゆっくり走ることです。 も運転すれば馴れます。しかし、街の また心配しました右側通行は、一日

出来たということです。 ームワークで、やっと一人前の運転が つまりドライバーと助手の二人のチ

りません。日本式の定員オーバーはO なお、アメリカでは、車の定員はあ

四道路事情について

かし、Dawson Creek より南のカナ りますが、ユーコンは砂利道です。 ダは、舗装してあります。 アラスカハイウエイは、 アラスカの道は、大部分舗装してあ 冬季もたえ

> の方が、道が雪で踏み固められ、快適ず除雪しています。ユーコンの砂利道 でした。

> > (五)

ーンは不要です。どの車もチェーンは るのが安全です。 スノータイヤで時速四〇マイル位で走 つけていません。凍結した道を、この タイヤはスノータイヤのみで、チェ

う Whitehorse 近くのカーブでスリ ップ、車はもんどり打って横転しまし ル以上で飛ばしていましたが、とうと Haase は調子に乗って、五〇マイ

合せしておく必要があります。

たが、テラテラの道を、 ル以上は危険です。 幸い、隊員のけがはありませんでし 時速五〇マイ

う一と暮もありました。 エイが最も条件が悪いようですが、出 水びたしになって、へたり込んでしま うになり、無理してつっ込んだ車が、 水のため悪くすると、二一三日待つこ くで、雪どけのため出水、道が川のよ この雪どけの時期のアラスカハイウ 帰りの六月には Whitehorse の近

程度のことです。 りましたが、運の悪いときは、そのよ とばして、窓ガラスを割ると聞いてお がすれ違うとき、対向車が砂利をはねアラスカハイウエイの砂利道は、車 うなことがあるから、注意せよという

とを覚悟すれば走れます。

Alaska に注文すれば、 Publishing Co. Box 1271, Juneau, 手するのには、Alaska Northwest め各所で、売っておりますが、予め入 がよいと思います。一冊一・九五ドル いガイドブックは、「The Milepost」 網などは、どの車も張っていません。 噂に聞いておりました砂利よけの金 アラスカハイウエイについての詳し アラスカのガソリンスタンドを始 送ってくれま き下さい。 に葉書で人数を記してお知らせお 松本市城東一丁目五 中日新聞社松本支局

ーテルを、帰り路はテントを使用しま 途中の宿泊は、往路は寒さのためモ モーテルについて

は、一部屋一泊一〇一一五ドルで、 高い程度です。このような安モーテル たが、食料品の値段は、日本より少し 食料は途中の町のストアで仕入れまし き)を申込み二人がベッド、三人がシ ヂもあり、快適に自炊が出来ました。 外、炊事場には温水が出て、ガスレン ユラフで 床の上に寝ました。暖房の モーテルは五人で一部屋(炊事場つ プは不要です。

"常さん"の碑の除幕

さん"は喜ぶことでしょう。 奥穂高岳の山頂に正対して建てら なく御参加下さい。多いほど 常 どなたでも御誘い合せの上、遠慮 姪の夫君、手丸亮次の両氏です。 れます。施主は甥の内野吉十郎、 隅に "常さん" の遺志を叶えて、 君、ここに眠る"と碑文を書かれ実の人生に生きた、内野常次郎 ず、十月二十二日までに、 い、中日新聞社上高地支局の西南 ました。碑は岳沢の自然石を用 に出来上ります。 槇さんが、 真 "常さん"の碑が、この程上高地 御参加の方は御面倒でも必

状がそこにあった。

と示し、復旧などおよそおぼつかぬ惨 むき出し、土砂流出の無数の跡を歴然

小さな櫛形山塊は、赤茶けた山肌を

記念会食 碑前行事 寝具の用意あり、翌朝食ともに、 宿泊と懇談 5時30分(千円) 午後3時30分 10月29日(日 奥小梨ケビン、

新潟県……

8月28日の水害

穂の中に、自動車や家財が散乱し、 された家屋がからみ、土砂を被った稲 り繁った田圃の中に、鉄道線路と破壊 線路を流された米坂線は土手となり、 の威力のすさまじさを見せつける。 難民を連想させるほど虚無的だ。実の 行交う人々の表情は戦いに追われた避 下越地方の台台狭しと暴威をふるい、 あの前線のもたらした集中豪雨が、

脱出したかとしきりに気になる。 俣峰と下って来た藤島支部長と長者原 豊登山口の大石へ、捜索隊員と装備を いヘリを捕えて、電話連絡もとれぬ飯 種のヘリコプターによる救援物資が息 帯の泡ノ湯温泉に泊ったはず、無事に つく間もなく発着している。その忙し で会った。たしかあの夜は、地辷り地 小害対策本部である。自衛隊を含む各 荒川左岸の段丘にある関谷中学校が 水害の前日、 朳差岳 ―頼母木山 ― 西

まるで初夏の新緑のように美しい緑を の奥に、豪雨に洗涤された朳差岳が、 塗り替えられたようだ。洪水の拡がり きさは言語に絶し、村の地図が別色に 空から見下ろす災害のスケールの大

一便飛んでもらう。

嵐 力 (5143)

れ、その後始末も大変なのだが、人命 に関することだから、岩船郡関川村に 半分も泥で埋めら 先生二人が帰らな 早朝、朳差岳の大 依頼を受けた。私 しいと関係筋から 行った中条中学の 石川へ岩魚釣りに の中条町の店舗も いので捜索してほ 八月二十八日 ど荒れ方がひどく、土砂を盛り、大木ルの増水が分った。登山道は、小沢ほ 山案内所高橋千代吉家をベースにして うてきた。私等は、被害のなかった登 りに滝さえ現われている。空から思わ 然無いと云う。それではとそのパーテ 小屋に二人の先生が避難した形跡が全 てくるのに出合った。昨晚泊った大能 名のパーティーが、朳差岳から下山し を倒して進行を妨げていた。 最高位をザイルで測ると、二〇メート 西俣川に捜索に出た。跳石橋で増水の 原に集ってきて、町や他村の情況を問 ぬ客に、村人は泥出し作業を止めて河 晴上った秋空に浮べている。 を連れて引返す。 イズグチ沢の手前で、東京の女性五 孤立の大石は、道が川と化して、

車然として云っていた。 県の登山者を連れて、山越しして下関 りもなく大石へ戻る。数日前に朳差登 道が寸断されているほかは何んの手掛翌日は東俣川に入って捜索した。林 玉川口駅方面に行くのだと、人間機関 会員は団体客らしい一団の先導をして 勝義会員に出会った。国鉄職員の加藤 校の先生と同じように流されたのか。 山の帰途、この川に流された関谷中学 に向う。途中、雲母温泉の付近で加藤 正午過ぎ、待機していた東京、岩手

大山昭一会員に会った。県の視察団 立、新潟市へ帰るヘリを待っていると 員が大活躍していた。自衛隊と交渉成 員であるらしい。 対策本部の混乱の中に、平田大六会

の二まで流されたとあった。それから 地蔵小屋主人から、川入登山道も三分 帰宅すると、飯豊山山都口の田中芳次 川の大洪水の暴れ方も悲惨であった。 は櫛形山塊の南側を飛び新潟空港へ向 滕島支部長からの見舞状もあった。 た。黒川村の胎内川、新発田市の加治 私等と東京パーティーを乗せ、ヘリ



『南北アルプス断片』 崎 (I)正

(五八七三)

駒ヶ岳—仙丈岳—両俣—北岳—大門沢 七月二十五日——三十一日 七月二十日——二十三日 蓮華温泉 白馬岳—朝日岳—蓮華温泉 一、田淵行男さん

胸は長年あこがれのこの偉大な写真家 味深いお話をしてくださったが、私の を見た。その貫録のある大きいカメラ についにお目にかかれたという喜びに た。初対面の田淵さんはいろいろと興 った。近づいてみるとやはりそうだっ から、私は「もしかしたら……」と思 朝の白馬山頂に群がる人々から離れ 一心に劔にカメラを向けている人

ル・テープの包帯をした三脚が印象的 日焼けした顔に薄い色眼鏡、ビニー

二、朝日小屋

言ってやる。「君みたいに平生奥さん 馳走にありつこうとしている人に私は 味噌汁とほんのひとつまみの山菜のつ けた。これでよい。山へきてまでもご け。でもお代りはいくらでもというこ 粗末な食事に驚かされるという仕掛 けものだけ。北アルプスとしては安い ほかに実のほとんど入っていない薄い とで、私はご飯五杯に汁三杯をやっつ 小屋代に喜ばされた登山者は、次にお 二食つき七百五十円。食事はご飯の

が身体によくはありませんか。」と。 人は、たまには山へきて粗食をした方 白馬岳の悲しいまでに壮大な姿であっ ら眺める旭岳や清水岳にかしずかれた ゲの乱れ咲く草原と、小屋の前の丘か 心づくしのご馳走ばかりを食べている 朝日小屋のご馳走は、ニッコウキス

り山と密着できるチャンスではない 電池がもったいないからではない。こ て登ってくる。ライトは消したまえ。 る。朝日岳の中腹で息を入れて振り返 みなぎり、剱の黒いピラミッドが見え の光のもとに遥かに浮かぶ黒い山なみ か。人工の光は捨て、夜露にぬれた月 の時こそ私たちはもっとも自然にかえ ると懐中電燈の光がいくつもつながっ 温泉に向かう。こうこうたる月の光が 中をぬけ出して、朝日岳を越して蓮華 三時。人々の心地よさそうな寝息の

朝日から蓮華への道はよかった。雷 四、おらのゆくとかどこだんべえ

渡ったり、珍らしいコツガザクラにも 鳥の兄弟の見送りを受けたり、雪溪を

あったとしても問題は地図以前のこと よう。途中に三ヵ所も道標があったの の重装備の彼らが前の正しい地点まで ういう結果を生んだのだ。テント持参 まったのだった。注意もせずただ前の 正反対のこちらへ一時間近くもきてし 泉で道を間違えてヤホ平のバス停とは った一組の登山者から「バス停はまだ の湿原にとび出したとたんに、すれ違 はじめてお目にかかったりもした。 人の後をつけて行くというやり方がこ 大池方面から下ってきた彼らは蓮華温 ですか。」と聞かれて度肝を抜かれた。 瀬戸川右岸の急坂にあえいで兵馬平

> から今までどこを歩いてきたのかもわ 行こうとしているのかも知らず、(だ ください。」との返事。自分がどこへ ろ、もじもじして「リーダーに聞いて 挨拶をかわし、行く先をたずねたとこ 京の大学のワンダーフォーゲル部員と は、ほんとうに山歩きも気楽なものだ。 かるまい。) リーダーにまかせきりと 昨年のこと、 南アのある水場で、

五、ガイドブック

感心する。写真家の物を見る眼の確か 知らない。どこの地点の木の間に何山 南部」の二冊ほど正確で完壁なものを で、白籏史朗さんの「南アルプス北部、 実によく自分の足で歩かれたらしいと さは勿論のこと、白籏さんという人は てみると全くその通りになるのだから の風に吹かれて登るとか、実際に行っ が見えるとか、どこの岩峰では後から たりしたガイドブックもあると聞く。 ガイドブックから拝借したり、山小屋 いうことが想像される。世間には他の 氾濫する山のガイドブックのうち

さを確かめに山に登りに行くようなも と言えば贅沢か。ガイドブックの正確 わかりすぎてしまうのも面白くない、 ないのだから皮肉だ。あまりに詳細正 確すぎて、前もってコース全体がよく も、必ずしもよいことばかりとは言え のオヤジからの知識だけで間に合わせ 現在のガイドブックはコースのガイ しかしこういう完壁なガイドブック

どから歴史、山麓の人文などにも多く 前の朋文堂のマウンテン・ガイドブッ のページをさくことがよいと思う。 ら、もっと山の地勢、地質、動植物な コース・ガイドは要点のみでよいか ク・シリーズの何冊かがなつかしい。 一辺倒に過ぎはしないか。その点以

【「北海道便り]】

会員懇親の 北海道地区 公

部を結成しようじゃないかという話 常に盛んでまた実にまとまっていて先 く支部が結成され、昭和二四年七月刊 が、二年ほど前から聞かれるようにな 余名になったので、そろそろ北海道支 後解散のうきめにあった実情もあるの と報ぜられているが、残念ながらその 者五一名、六月札幌で総会があった。 般本会支部が設けられ、この時の入会 会報一四六号に『北海道は山の会が非 会員はなかなか慎重である。 で、当時のことを知っている年長者の った。しかし、北海道では戦後いち早 北海道の会員も次第に増加し、八〇

ののろしをあげるのは時期尚早である 員が来道されるような機会にも、知ら 関する意見交流の場にして、北海道ブ して会員の親睦をはかり、支部結成に か、月見の会とかグループ山行などを という年長会員の意見もよくわかる しっくりしないではないか、支部結成 ないで過してしまうようなことでは、 なんとなく淋しいし、本州方面から会 会員が、お互に顔を知らない状態では ロックとしてのムードを煮つめていき それにしても北海道地区に在住する せめていろいろな機会に夕食会と

会に、懇親の一時 もちあがり、たま を持つことができ 来道されたのを機 たま深田久弥氏が が若い会員の中に

会場は日本赤十

室。期日は八月六 字会館の三階会議

とになごやかな有意義な会合となっ 入七で、当日の出席者も二九名とな 夫、塩田良仲·厚郎、佐々保雄、芳賀 中野征紀(釧路)塩田輔雄、 相川修、坂本直行、草刈信行(函館) 札幌医大山岳部・篠島弘、酒巻吟一、 鎌野輝雄、加納一郎、若林修二(室蘭) ない一夜であった。(文責 新妻徹) は雰囲気も最高汐となり、なごりつき ク・ロードのカラースライド上映の頃 り、世話役の忙殺覚悟の意気込みに会 てがり版を持ち出して鉄筆をふるった が暑さのためにとけてしまい、あわて いておいた北海道地区会員名簿の原紙 場に持ち込んでサービスをしたり、書 た。サッポロの生ビールを樽のまま会 はせ参ずる会員もみられたほど、まこ り、遠く釧路、函館方面などからも、 一。反対三。どちらでもよい七。無記 返信があり、支部設立について賛成四 よく、送付枚数八一通に対し五九通の 欣吉、滝本幸夫、高沢光雄、平野明、新 日(日)午後六時からで、このための案 孝郎、小須田喜夫、藤平正夫(小樽) 員の激励も加わって、深田氏の シル 妻徹の顔ぶれ。アンケートの回収率も 内状と支部結成に関するアンケートを 七月二五日に発送した。世話役は浅利 出席者(順不同)深田久弥(東京) 高岡周

安田成男、長沢悟(夕張)阿岸充穂、 大佐々哲夫(室蘭)浅利欣吉、 平野明、新妻徹、

駒 ケ 岳

省 Ξ

日快晴に恵まれた駒ケ岳へ登ることが 岳は、函館本線の車窓から刻々変化す 較的女性的な山容で知られている駒ケ れる深田久弥氏を迎えて、去る八月八 掛けているがその機がなくて一といわ 北海道の南部にあって、休火山の比 北海道渡道の折、 駒ケ岳は何時も心

植えたといわれる赤松並木が印象的で 慰さめる為、東海道の松並木を真似て 時湯の川温泉を発つ。函館郊外のかっ と筆者の三名を乗せた自動車は、朝六 て松前藩士が、異境での殿様の不聊を 氏と同行の中川氏(函館社会保険)

とる。無風快晴で五合目から上は樹木 山灰におおわれた山肌には、 は無く、茶褐色の浮石質の火山礫と火 つめる。七合目で車を降り軽く朝食を っきりつけられている。 赤井川コースをとり、登山路を車で 踏跡がく

通称馬の背に着く。 度が高 るが温 かすん 眼下に 振りか い故か で見え えると 小沼が

きかな 遠望は あまり

為か登山者はチラホラ程度である。 剣ケ峯迄は高距約百米。岩桔梗の点在 為そのまま下山する事とする。平日の はさんで茶褐色のなだらかな山容を見 波が一きわ鮮やかに見える。爆裂口を 四十分程で頂上に到着した。早速中川 する馬の背を横切り岩峯に取りつき、 せる砂原岳へは、登りに時間を費した には海岸線に沿って街並が並び、白い 氏持参のウイスキーで乾杯する。眼下

湖水のほとりに出て見る。相僧かすん ルエット程度しか見ることが出来なか でいて水に映す駒ケ岳の秀麗な姿はシ いた。途中大沼公園に寄り一汗流し、

午後一時七合目着、迎えの車が来て

道内の名山の一つとして知られてい る眺めと、大沼湖水に映す姿が美しく

田氏は、東京行最終便の機上の人とな 草苅氏宅にて夕食を御馳走になり、深 午後四時再び函館市内に戻り、

『雨竜沼から

暑寒別岳 高

のある管理人小屋円山荘に泊めていた 過ぎ南暑寒荘に着く。宿泊は自炊設備 からの驟雨に車輪を取られながら三時 タン川添いに開削された車道を、折り 暑寒ダム人造湖を通り抜け、ペンケベ 竜町で小型トラックをチャーターし、 欣吉、平野明両氏と共に出発する。雨 日は定山溪で泊られ、四日朝会員浅利 山旅に八月三日やってこられた。その 訪れたさい話題にあがった暑寒別岳の 少くなってきた。一昨年ニペソツ山に 深田久弥氏の北海道名山歴訪も残り

竜沼湿原に到着す。広々とした湿地帯 釣橋を渡りウグイスの声に誘われつ雨 に山荘を出発する。巌峰の円山を眺め 散在する池塘をたどっていると、 心配された雨もあがり、黎明四時半

い。こ

こより

増毛山岳会員の歓迎を受け暑寒別岳山 る。一時近くに会員滝本幸夫氏や地元 どって根曲笹のブッシュに強いられ 岳の間は起伏が著しく、所々踏跡をた さかへこたれる。南暑寒岳から暑寒別 じぬ山である。炎天下急な登りにいさ き立った雲もあがり行手の全貌が現れ である。 し、だだっ広い暑寒別山頂とは対照的 浜益岳への眺めは増毛山塊の雄をな 頂に着く。痩尾根を持った群別山から る。まだ残雪を抱き "暑寒" の名に恥

と題してお疲れになった様子もなく一 線のコースをたどる。暑寒荘を経て車 が待受けており「日本の山・世界の山 毛町に着いてからは深田先生の講演会 の乗入れてある暑寒別川のダムサイト 時間半もの熱弁を振われ好評の幕を閉 に着いたのは五時半過ぎであった。増 下りは増毛側に海を望みながら一直

冬山道に向って道 六日朝、増毛山岳会の案内で目下雄



ず利尻、焼尻の島 いたのは残念であ が朝もやに消えて 好天にもかかわら 美しさを眺める。 断崖から海岸線の 路工事が進められ マツカ岬まで行き ており現場近くの

Hermann Buhl 逝いて10年!!

南尾根から姿を消した。三〇〇〇メー た Kurt Diemberger の写真を私は トル下の氷瀑が彼の墓場となってい ましたあと6月27日、チョゴリーザの た彼も、一九五七年、ブロード峰を済 持っているが、ナンガの頂に独り立っ ブールが Broad Peak の上で撮っ カラコルムにも戦雲が濃い。

お知らせ

東海支部」ルームの移転

しました。 七月より左記にルームを移転致

名古屋市千種区若竹町三ノ一七 (原病院内

軽くお立寄り下さい。 お、集会日は毎週金曜日 6.00p.m の御利用を歓迎しております。な すので、東海地方在住の会員諸氏 支部員貸与の蔵書が備えてありま 電話 (七四一) 五三三一内線三〇 -9.00 p.m ですので誰方でも気 ルームには、寄贈図書および某 日本山岳会東海支部

◇記念絵はがき 頒布のお知らせく

から事務所までお申出下さい。 かにも茨木さんの絵らしい作品です。 作品『曇れる鳥海山』で、しぶい、い りえらばれた一九四三年六月十四日の は、故茨木猪之吉画伯のスケッチ帖よ 書が作成されました。使用された絵 て、佐藤久一朗評議員により記念絵葉 希望者には左記により頒布致します この度、新ルームへの移転を記念し

一、頒価、

一、送料 五枚迄一五円、十枚迄二 〇円です。 一枚一〇円(絵は一種類

☆日本山岳写真協会賞☆

涼風がたち始めております。 会報いつも楽しみに拝読しておりま 初秋の候、ここ北アのふもとはもう

た「アイガーの壁」が日本山岳写真協 会賞を受賞しました。 九六七年全日本山岳写真展に出品し さて小生が、日本山岳写真協会主催

のものです。 これは一昨年、 ヨーロッパ山遊の時

ます。どうぞ御批覧下さい。 溪賞を受賞されました。 この二点共「山溪」九月号に出てい アコンカグア南壁の大ナダレ」が山

小屋ですが、泊って頂いた人に満足し がありましたら是非お出掛け下さい。 ていただける様努力しています。機会 乗鞍を仲間で開きました。ささやかな ますます会の繁栄を祈っております 昨年暮、乗鞍の鈴蘭高原にヒニッテ 田 弘

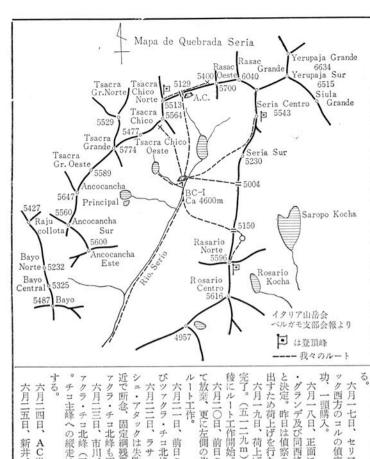
旅の恥は搔き棄て!!

(五三三〇)

識を忘れずにいたいものだ。 外国へ行っている場合は、飽くまでも て来つつある。それにつけても色々い 日本を代表して来ているのだという意 い話、悪い話が耳に入る。われわれが 今年の遠征隊もそろそろもう帰えっ 心懸けの問題である。 金ではな

尚会員の石原国利氏(五一八〇)も

シー



アンデスの記録(1967)

か五日ですから、チキア が七月三日朝、 ないようです。 大日ですから、 しても、 ン、リマと人に託して出 Pocpa に帰るのが四日 て出した通信は届いてい るとわれわれがカルワコ んの手紙拝読、 からアリエロに託し リマ、東京は五、 これによ 渡したの 彼らが 頭

通 ワイワッ 八月一八日付の恩田さ 白 信 会 着きました。 バスがコノコチャ峠への登りで故障続 ってしまったようです。 六月九日夜リマ発、チャーターした 六月一一日朝、 一〇日の夕五時頃チキアンに辿り 一〇時間の予定が二〇時間かかっ

> われる地点にBCI(四六〇〇m) 六四年のイタリア隊とほぼ同位置と思

を

設置する。

シュへの登りにかかり、 部落で幕営(約三〇〇〇m)。 ャラバン開始、五時過ぎにパキョンの キョン川の本流と別れ、 六月一二日、ハウワコチャへ続くバ アリエロ四人、その親方一人でキ 約四二〇〇m プンタ・タブ

結局金の方は二〇ソーレスが無駄にな として一〇ソーレス渡しましたから、 に郵便料として一〇ソーレス、手数料 日頃には着かねばならぬ筈です。 彼ら

プーロニニ頭、 馬

を望む。 4

功、一頭購入。 ック西方のコルの偵察。羊買出し成 六月一七日、セリア中央峰及びラサ

出すため荷上げを行なう。 と決定。昨日は偵察のコルへA・Cを 完了。(五一二九m)ラサック西峰西 ・グランデ及び同西峰を西面より攻撃 六月一九日、荷上げ及びA・C設営

びツァクラ・チコ北峰偵察。 シュ・アタックは失敗、五四〇〇m付 ルート工作。 て放棄、更に左側の氷河から西壁への 六月二一日、前日のルート工作およ 六月二二日、ラサック西峰西壁ラッ

固定網残置約三〇〇m。

ッ

六月二〇日、前日のルート不利とみ

ァクラ・チョ北峰 (五五一三m)登頂 ァクラ・チョ北峰も不調。 チョ主峰への縦走は時間不足で断念 六月二三日、市川、本田、 秋野、 "

六月二五日、

P ザリ

*

六月二四日、

AC 撤収 秋野、

四八〇〇m)を越え、Huayapa チェ(高山病)に襲われる。 落(約三三〇〇m)に幕営 六月一四日、セリア川に入り、 六月一三日、ブンタ・タブシュ 程度の差こそあれ、 全員ソロ の部 九

出る。約三〇分上手にセリア・コーチ れわれ五人と担夫のセルヒヨ・カユー ○○○mのコルに登り、サラポ湖方面 べだけとなる。市川以下四人で偵察に 六月一五日、ブーロその他解雇、 (湖)がある。本田他、 右上手の五 b

六月一六日、全員調子悪く休養とす

六月一八日、 正面に見えるラサック

峰が見える。 の手前で幕営 の長い登りを終え、ワイワシュの部落 ぎ、プンタ・ワイワシュ(四七〇〇m) ○○m)を越え、Laguna Viconga アイガーのように聳える Carnicero (非常に大きな湖で、 七月一日、プンタ・クヨック(五〇 (国国〇〇日)

の草原に幕営、 (後の行動は七月二三日付の手紙を BCILとする プンタ・カルニセ P

中央峰へ、約五〇〇〇mでビバーク。 用意がなかったのが失敗のもと。 す。スケールの見誤りで、ビバークの 間切れで、五三○○m付近から引返トを求めたがラッセルに悩まされ、時 ァクラ・チュ主峰へ正面氷河からルー (五五九六四) 登頂。市川、 六月二六日、右二名、 六月二七日、 本田、 宮田、 ロザリオ北峰 本田はツ セリア中

央峰(五五四三m)登頂 六月二八日、終日荷物整理、

アリエロ姿を見せず。 約束の

Cを張ったことを知る。 り、約四二〇〇mに幕営。 ロ一三、馬四、アリエロ三人)。 時BCI撤収、キャラバン開始 ら、農工大隊が二六日に、 ア谷を下り、Huanacupatai 谷に入 六月二九日、早朝ブーロ到着、 ミツ湖にB アリエロ 71 セリ

雪を行なわせる。 ○m)に幕営、アリエロ三人に峠の除通行困難のため手前のバンバ(四七○ くりの Puscanturpa の岩峰を見なが ら、プンタ・クヨックへ向った。だが から正面に、グランド・ジョラスそっ 六月三〇日、ワナクパタイ谷の上流

湖に来て湖の右岸を捲き上流三〇〇m で Queroparuca 谷に合し、Carhua の部落を過ぎ、 ンカの姿が見えてくる。最後の急降下 (四五〇〇m)を越えると、ヒリシャ 七月二日、ワイワシュ、カルニセ 魚もいる)を過 左手に

数ご参加下さい。 す。男性会員の参加も歓迎します。 味い、一日を楽しく過したいと思いま 国土地理院·電話 光徳付近を散策して、晩秋の香りを 詳細は、婦人懇談会・武田満子まで

多

(5596m) は第二登、 (5543m) は第二登とそれぞれ考え (5513m) は第四登、 れます。 尚 前記、 Tsacra Seria Rosario Chico Centro Norte Norte 5

七月二四日 コロンビア・アンデス 市 Ш 正

だより

アンデス学術調査隊としてサンタ・マ 六月下旬より静岡大学コロンビア・ 良 Ξ

五m)のバリエーション・ルートから ルタ山群の主な峰は殆んど登頂しまし 師一名を含む)で、その他サンタ・マ (四七五○m~五四○○m)の登頂に成の初登と、未踏地域の十九座の未登峰 で最高峰シモン・ボリバール(五七七 ルタ山群に入山し、約四十日間の滞在 す。会の皆様に宜しく。 ております。十月中旬に帰国の予定で 下バランキリヤで帰国荷物の整理をし で、計画通りの行動ができました。 た。天気もよく、氷も堅くなかったの 功しました。入山した隊員は五名(医 松田 八月二十五日付、 バランキリヤにて 目

婦人懇談会 щ 水会

宿泊費および懇親会費用)▽申込 十一宿泊費および懇親会費用)▽申込 十 月一八日までに本会事務局へ。 月二一日 (土) 18時までに日光・光徳 ▽とき 十月二二日(日)▽集合 「日光きのこ狩り

(七二三)〇四四



Khorabohrt Dar(Buni Zom) G·Gruber より吉沢 から見たSaraghrar (距離45Km)。 へ送って来たもの

会紹介状など、多大なるご援助を仰 したので、飛行機上より天山山脈、 ぎ、有難く感謝しております。 バイス及び松田雄一氏よりの日本山岳山に際して吉沢一郎氏より貴重なアド ャワールに戻りましたので御報告申上 経路は(六月二三日発)ソ連経由で 私達は今日、海老原病気の為、ペシ この度の私達のヒンズー・ラージ登

どの高峰を見ることができ、七月 ミール高原、ヒンズー・クシュ山脈な 0 日

ヒンズー・ R C C II 高 ラージを探る て行く。 んの前に御披露し (吉沢) でいるもの)下のガルピガルにBCを 入りました。 ヨ・アン(吉沢氏が Tui Pass と呼ん 七月二一日、ガゼン・ゴルのトゥイ

遮られ、私達の物資では歯が立ちませ イヨ・アノ・ゾムのことで、最高峰は、 んでした。 二〇〇〇mもの垂直の大岩壁によって この周りの山々全部を呼んでいるトゥ 設営しました。 Tui Peak というのは、地元の人が

Puti Zom (5475m) - Mehejulian Kar

1-Kai-Zom(5270m)-|-Troi · Kai Gini

・カイ・ギニ・山群の最高峰であるイ 日、トゥイヨ・アノ・ゾム山群のトロイ のシャー・ゾム (4960m)、二五~二六 七月二三日、 カイ・ゾム ヘジュリアンカールの最高峰の (5270m)、二八~二九 メヘジュリアンカール

Kamaro Zom

真を楽しみにして下

月九日の予定。

い。八月一三日、

に入ります。帰国は

Shah Zom (4960m)-

しました。周辺の六○○○m峰は、こプチ・ゾム (5475m)の三峰に初登頂 急いで医者のいるマスツージに下りま m峰(カマロー・ゾム)に八月三日向 部落に下り、別のルートから六〇〇〇 傾斜が緩く、可能と思われます。 の谷からの登頂は不可能で、 探査をしました。 いましたが、海老原病気のため引返え しました。周辺の六〇〇〇m峰は、 して、高橋はヤティチョ・ゴルに入り た。 七月三一日に食料がなくなり、 八月五日、海老原、病状悪化のため 北面なら

HINDU·KUSH·····

けている。

いた各隊の成果 親切に御連絡を

到着順に皆さ

界で二番目の登山隊としてヤルクンに

のヤルクン流域は私達だけで、又、世

そのうち七隊は日本隊です。だが僕達

本年のチトラルは一六の隊が訪れ、

○隊以上は出か た。日本からも

トとして訪れ、登山しております。 んど先に許可を得ない隊で、ツーリス

1967

にナダレ込んでい

二〇隊が、H・K

よく登山許可が得られました。

チトラルを訪れる各国の登山隊は殆

ジェントに紹介状を見せたところ、

D

(I)

から大小合せて約

今年は世界各国

チトラル着。

ポリティカル・

それからそのままベシャワール Group でソ連経由で八月三 部良くなり、 りました。今では大 ギルギットへ飛び、 能で担架にのせて下 へ。海老原は歩行不 っ。高橋はこの後、 ツーラ山群の偵察 日帰国の予定で 彼一人

Group

Darkot Pass Tuiyo An 4499 Gazen ticho Mastuj

ペシャワールにて 松田宛)

I

III

日時・十一月十四日 場下さいます様御案内申しあげます。 た。皆様お誘いあわせの上、是非御来 ひとときを過したいと企画いたしまし 映画と音楽の夕べ」と題して、楽しい 5661 6510 Wakhan Range 本会学生部では左記の通り、「山の ◇山の映画と音楽のタベ◇ Engels 学生部主催 Yamg Karl Marx 73° Qalandar Uwin 4600 Baba Tangi Uchilio PassBaba Ribaton 50390 Chiantar Gl. (火) 午後五時半 AFGHA 5895 Kan Kun 6660 Shah Jinali An(4259)65 shkumar 0 Uzhnu 場所・千代田公会堂(九段下) ブログラム Masjid I 入場券は一枚一五〇円、 ムでおわけしております。 一、映画「アンデスの氷河に挑む」 Chitral Shak ンサンブル 音楽出演・学習院大学ギターア 映画「花嫁の峰・チョゴリザ」 QDrasan. Gilgit Cil Gupis ⊗ Buni Haim 山岳会のル 36° 74° シュと 東部ヒンズ 72° ヒンズー・ラージ山脈 30 50 km 40 0 10 20

ブニ・ゾム山塊

シュペール・ゾーム (6100m) の初登頂

> 調査隊 宮森常

農業学術 東京農大

只今ゴーレン・

ニ・ゾムから測量(水平)して見たがブ ましたオーストリア隊の話ですと、ブ 台がゴロゴロして居ります。途中会い ニより高い位のものもあったとの話で んが、空白地帯にはやはり六〇〇Om には五〇〇〇m台しかのっておりませ ぐ南側です。地図 ム (6553m) のす ります。ブニ・ゾ ゴール谷に来てお

で」と云うような訳です。 同方面でやはり七、八十人のポーター 代がどんどん上って困る。又、一橋も ポーターを使い、近くの物価ポーター テイリッチ・ミールが百五十人近くの ンです。彼等にいわせますと日本は古 は皆五名から七名の小エクスペデショ いますので無理もありません。外国隊 い古いと云っています。「市川岳連の 丁度我々とは反対側の谷から入って

ている位だ』と云ったら『日本の登山 たった一人でキリマンジァロにも行っ ズー・クシュの他にネパールに六隊、 は日本とは問題にならん、日本はヒン 入って居るか』『我々は一隊のみ』『で て居る。『所でオーストリア隊は何隊 我々のような小さいのも他に四隊入っ で、大エクスペディションは二隊だが、 居るとは知らなかった!』と云うの アラスカに四隊、南米に五隊、女の子 『お前達のような小さな隊も入って さし、気圧の変化を考えても六一〇〇

進登山家で、ブニ山群の三ツの六千米 サリ切って居ました。 ャリッフ氏でオーストリヤ切っての新 所で我々の動きですが、アタック・ あとで名を聞いたら、アンディ・シ

共に一人四、五〇〇円ですから決して ラワルピンディ=チトラル間が荷物代 のオーバー分が20ルピー計91ルピー、 経由でチトラルへ飛行機71ルピー荷物 スからパキスタンのラワルピンディま 税関も全部フリーパス、一度も荷をあ ゼイタクとは思いません。 のでラワルピンディからペシャワー で全部汽車とバス、金があまりました けられませんでした。インドのマドラ 軽さですから、インド、パキスタンの 現地食で、隊員七名にポーター五名馬 大キスリング一個、サブ一個という身 イレーションで第二、第一ベースとも キャンプのみアルファ米を使用したハ 頭のみのケチケチ・パーティーです。 何しろインド入国時から一人当り特

むかいます。思ったより金がかからな 現地解散後私はかえりますが、他の隊 す。その後約二ヵ月農業調査をして、 ーにサービスさせたのでルピー36円で りません)とかけあって一ドル15ルビ 員は半年近くヒンズークシュの奥地へ ーケットのボス(日本の程すごみはあ あと五日でベースキャンプを払いま 又、インドでのルピーはブラックマ

タックが13時間半かけての動きでした ペール・ゾームは第三Cまで出し、ア が、おかげ様で初登頂になりました。 の地形調査をかねて登りました。シュ ーレン・ゴール谷に最後のしめくくり いので皆おどろいています。 今まで私達の調査して参りましたゴ 大阪市大の高度計で約六二〇〇米を

> 後日の全員下山のための食事当番に早 の動きを見届けたらすぐBCに下り明 通しがききますので、明日アタック隊 プが第一からアタック隊の動きまで見 う御座いました。只今はよくばってブ ○米アイスフォールの真下のテントキ ニ・ゾム南峯をねらっています。 プまで出し、私が第二キャンプ四七○ パーをしています。丁度このキャン 明日がアタックの日で、第二キャン 色々と御心配をかけましたが有難

ネパールで動いた事のある某君もオッ かぬと苦しくなります。 の手紙をかきながら時々大きく息をつ カナイ氷河だとおどろいています。こ そだからともいいきれぬものがあり、 っ込んで居ります。氷雪技術がへたく 数回以上多いもので20回位は片足をつ チカチさせながら出て来ました。全員 り吞まれ、15m下にブラ下りアゴをカ すみましたが、一名は全身をすっぽ 足をつっ込みました。いづれも片足で 十二回、プニ南峯で四回程クレバスに バテました。シュペール・ゾームで 察に参り、呼吸困難でコテンコテンに

恋しくなる事さえあります。大変乱雑 等はゾクッとします。 たね!』といいながら第一キャンプの に書きましたが頭痛の連続で薬を使う り出します。腰の下でビシッと鳴る時 なるとすぐに氷河がピシッピシッと鳴 メンバーが下って行きました。日蔭に 45度から48度もあった暑熱の下界が

吉

沢一郎様

九月十四日

岡

本 竜

行

(チトラルからの手紙です)

一九六七・八・二二・一八・三〇

pm

42・8・26 ヒンドウ・クシュにて ますが、今では皆薬はつかいません。 るテントはガス天という名で通ってい と二、三日でポストランナーが来ます。 と、腹にガスがたまりやすく、私の居 大変ながくなり失礼致しました。あ

法政大のルンコー登頂東海大のルンコー登頂

また、現地からの報告にも不明な点も あり、ルート図もきておりませんの ってしまいました。お許しください。 地からの詳報がおくれて、今ごろにな っそく御返事をしなければならないの に、私が山へ行っておりましたり、現 お葉書ありがとうございました。さ (五五一五

がわりです。 つい一週間前は約五三〇〇米まで値 書かれてありました。では悪筆で失礼 すし、朝日に行った文にも七〇二〇と 文の読みちがいで、私のところには、 で、きわめて、おおざっぱな日誌しか 七〇二〇メートルとしるされておりま き、十月末に帰る予定です。 可能性を見いだすためにカブールへ行 の後、私たちの憧れであるワハンへの す。彼らは、コトガズ氷河周辺の探査 ら、ぜひごらんいただきたいと思いま っておりますので帰国いたしました お送りできないので残念です。 ーの高度は誤りです。現地からの報告 なお、朝日新聞にのりましたルンコ 写真は、一〇、〇〇〇枚とったとい

ばよいのか全然見当がつかぬようでし す。但し彼等はそれがどの谷から入れ

『手紙が書けるなら高度になれまし

導くださいますようお願い申しあげま

いたしました。今後ともよろしく御指

zum) 氷河にBC (三八〇〇m)。 (4600m) にビバーク、偵察。 し、ルンコー偵察。

七・二二、BCを四二〇〇mに移動 七・二〇・チシズム(注・Chhuti-

七·二五一二六·Shah Gologh 七・二三・チシズム氷河偵察。

七・二八~二九・チシズム氷河四二

でビバーク。 〇〇mに荷揚げ。 七・三一・ここへ荷揚げ 七・三〇・チシズム氷河四六〇〇m

ビバーク。 ロワール偵察(注・図がないので不明)。 八・三・クーロワール五八〇〇mで 八・一~二・ルンコー三つ目のクー

ビバーク。 八・四・ルンコー稜線六五〇〇mで 八・五・登頂して(どのピークか、

しか。 八・七・四六〇〇mでビバーク。 八・六・六五〇〇mでビバーク。

八・八・氷河を偵察して四六〇〇m

図がないので不明)六八○○mでビバ

でビバーク。 ガーズ氷河偵察。 八·九·BC帰着。~一四までコト

尚、簡単ながら、アプローチをつけ る露営と思います。 ですが、ビバークとはツェルトによ 以上がルンコー登頂前後の記録

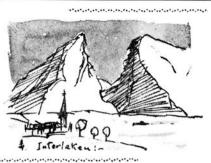
発、七・一二 チトラル出発。 加えます。 六・三・横浜出帆、七・一 カラチ

係はとくにありません。 個人山行にわれわれが便乗したためで 加しているのは、彼らが計画していた 法政大学体育会山岳部42年度OB。 し個人的に彼の親友である田中君が参 ているヒンズー・クシュの偵察と登山 す。当山岳部と法政大学山岳部との関 援助を受けて出発したものです。しか 育会山岳部42年度OB、田中滋晃(22) 計可をとる役目ももっており、大学の この隊は、東海大学山岳部が計画し 参加者、鈴木政孝(22)、東海大学体

× × の会員でもある。)

(注・岡本竜行氏は「独標登高会」

拝聴しているしだい。



会 峅だより=

から東京駅の短い区間だったので碌に 東京を発つとき山手線の車中で折井 新川郡芦峅寺へやって来ました。丁度 (健一) さんに偶然お会いし、有楽町 八月末の残暑を脱れるように越一中

古いガイドのことでも調べようと文蔵 に話をきいたり、二代目平蔵に会った す。その間にトンコに頼んで、芦峅の と日頃の不勉強を埋めあわせていま もなく、いくらかまとめて本をよもう もすでに半月以上、これといった仕事 ので、ここに腰を据えての独居ぐらし ること頻りなのには困りました。 なア」と私の浪々の身を羨ましがられ トンコこと佐伯富男宅が空いている 「芦峅は涼しいでしょう、羨ましい あれこれと越中山人の昔がたりを

うやら台風の影響からか来村以来毎日 沢へ登ろうかと思案していますが、ど そろそろ麓ぐらしにも飽いたので剱

茂

話もできなかったけれども、 (三四一八)

(吉沢一郎宛

の程カトマンズーに参りました。 リーで遊んだりしておりましたが、 えてカプールに入ったり、カラチやデ 旅を続けております。カイバー峠を越 さが身に泌みます。 れも夜ごとに冴えて俄かに朝夕の爽涼 いてくる芦峅のあたり、常願寺川の流 も立山はみえません。だが日ごと秋め 鉛色の雲が低くたれこめて、一日とて

しい町ッ子なのでしょう。 はしがたいようで、やはり私はさわが んにいわれますが到底それまでの流連 滞在していたらと、佐藤(久一朗)さ の登山教修所でのJACの小集会まで の昨今です。十月七日、当地千寿が原 きたいものと、そぞろ東京の恋しい私 えって来た仲間たちの山の土産噺も聴 九月も中旬をすぎて海外の山からか

◇帰国御挨拶◇

やかな秋を迎えようとしております が、皆様は如何お過ごしでいらっしゃ も繁くなって、その汚名を拭い去り爽 も風は涼しく風鈴を揺れ動かし虫の音 九月の声を聞き不健康地だった東京

三十一日(十九時五分、羽田着)に無 私達は既に秋の気配の感じられる八月 な年になりました。 事帰国致し、今年は暑さ知らずの幸せ 大変過ごしにくかったとの事ですが、 今夏の暑さは何年ぶりかのもので、

化もありません。

ます。ほんとうに有難うございました。 協力、御支援に感謝する次第でござい ました事をここに御報告し、皆様の御 をおかけしましたが、三人元気に戻り な日々をおくる事ができました。 善活動もスムースに運んで大変有意義 人及び日本からの移住者の方々との親 九四米)にも三人揃って登頂し、現地 昭和四十二年九月 現地からの消息が充分でなく御心配 さて、目的の山ワイナポトシ(六〇

限りです。会の皆様に宜しく。

(八月七日付、松田宛)

長広が八月九日に帰国してから一人

H・Kを後にしてから

かれるようになりましたこと、淋しい

もと有料道路やスカイラインの声がき

す。又石鎚の山々に観光開発の美名の 年振りに枯れ、景観が一変しておりま

日本ボリビア親善隊 阿清関部 米智子子子

◇天祖山より◇

白石山(はくせきざん)と命名されて この夏に奥多摩氷川谷の天祖山(昔は じあげます。やまいは気で左右されま ☆天祖山駄句(5句)☆ の名山の一つですね。 れた静寂なこの山でなければ味わえな す。大いに頑張って精神力を適度に活 い独特の雰囲気に包まれている奥多摩 いた)に山行しましたが原生林に囲ま 用させたいと思っております。昨年と 病気お見舞いただき有難う存

御手数を高謝申しあげます。 天祖山立岩の落葉こえを断つ 立石を叩く驟雨に耐えゐたり 伏流の広き御供所にぐみ熟るる 天祖山社(やしろ)に落葉とはつづき 白菊や暮るる清らに露しほる

水田健之輔

(吉沢一郎宛

四国の山より

の尾根歩き(寒風山―瓶―石鎚)をや ってきたところです。広い笹原が数十 小生今年も田野中八年目、身辺に変 八月一日より登山部の子供達と石錦 真 生

誼の程お願い申し上げます。 と同時に今後ともよろしく御指導御交 これまでの御厚情に深く感謝いたす

松沢

めてのこと)いる国際的な服飾デ

(吉沢一郎宛

したところ、このたび受領通知の葉書 れているではないか。思いがけなく は、驚いたことに、茨木猪之吉画伯の を受けとった。ところがその葉書に 「曇れる鳥海山」と題する絵が印刷さ ルーム基金にほんのわずかの応募を

なり松屋なりにお問合せ下さい。 山はありませんでした。悉しくは長広 ミアングル・サールは現地ではそんな りまで行きたいと思っています。 へ行って来ます。エベレストのBC辺 ファラク・サールは登りましたが、 これから約一ヵ月の予定でナムチェ

をお詫び申上げます。 c/o Mr. P. S. Rana, P. O. Box, No. 491 九月二九日 秋山

長らくご無沙汰しておりましたこと

Katmandu, Nepal.

◇カトマンズーへ◇

でしょうか。 の気配を感ずるこの頃、いかがお過し 残暑きびしいうちにも一風ごとに秋

となりました。九月九日フランス郵船 く努力いたす所存でございます。 後は彼の地で、日本との掛橋となるべ 隊マネージャーとして再度訪ネの運び 会を辞し、西部ネパール民族文化調査 で横浜より出航いたします。調査終了 御鞭韃を賜わりながら同協会事務長と 文化協会創設以来、皆様方の御声援と たしてまいりました。このたび日ネ協 して日ネ両国の掛橋となるべく努力い 扨て、私儀一九六四年日本ネパール

憲美

◇気の利いた受取り◇

かろう。 も、こんなに素晴らしい絵葉書を貰っ てよろこんだのはひとり私だけではな

うれしいかわからない。私はルーム基 ういう気の利いたものの方がどれほど 訳なく思っている。 感じ入った。それにつけても私自身貧 金募金委員会のセンスあふれる配慮に 者の一灯しかささげられないのを申し 通り一偏の紋切型の受領通知よりこ

ルーム基金募金委員会宛

中正

◇クラブ・タイの頒布◇

ザインは紳士服飾デザイナーの、 川森左智子さんの話によると、デ 求め下さい。必らず喜ばれます。 周辺の方々への贈りものとしてお 上品になって下さい。女性の方は 日本山岳会員はこれを捲いて一層 のだそうである。 慶応大学英文科卒)に依頼したも 星野醍醐郎氏(一九二四年生れ、 ある重厚でスマートな作品です。 て、クラブ・タイを作りました。 一年連続受賞して(東洋人では初 Y・キャズウェルマッシー賞を 星野氏は、一九六二、三年、 尚、このネクタイ担当の評議員 本一五〇〇円の値打ちは充分に この度、ルームの移転を記念し

数の顧問デザイナーをしている。 服メーカー、服飾品メーカー等多 ザイナーである。 百貨店を経て、現在シルバースタ 経歴は、国際羊毛事務局、西武 主宰。他に生地メーカー、紳士

意味でした。よろしく。 が、タイと川森さんの顔を立てる 少し紹介が長過ぎたように思う (吉沢)



义 紹 介

『わが半生の山々』

世界山岳名著全集·11

吉沢一郎訳 E・シプトン著

内容をよく現わしていると思う。 訳の『わが半生の山々』という題名は の山々を探り登っているのだから、邦 のであり、その後も著者は盛んに海外 それ迄の著者の山登りを内容としたも Mountain)は一九四三年の刊行で、 梓された。 本書(原名 Upon that と思ったら、同じ著者の本書がまた上 先頃『地図の空白部』の翻訳が出た

思っていた。 れがたく、本書も邦訳のほしいものと の本を読んだ時の印象は、いまだに忘 れないが、しかし、戦後間もなく、こ 較すると、いささか粗末の感をまぬが デヴィ』や『地図の空白部』などと比 ただ中だから、原書も前の『ナンダ・ 一九四三年と言えば、今次大戦の真

森や氷河での放浪い、時には、澄み透 を増していたトリズールの南西にある 美しいリンティ峡谷の探検と、その奥 手早い試登、バギニ峠の第二乗越し、 山々に登った。巨峰ドウナギリーへの にある峠越え、素晴らしい秋色で魅力 "聖域を再訪し、それを囲んでいる

> 飛び上がって行く、眼もあやな虹薙、 まりにも短いのである。』(訳書一五六 観、こうした美しい土地の魅力をむさ る丘、……そして、ああ、無窮の景 長い、黄金色の草が風に靡き動いてい ぼり尽くすには、われわれの人生はあ った一一月終わりの冷たい大気の中

が所々に顔を出しているし、また小遠 るのだと思うが、こうした著者の感慨 そ、人生の余りに短いのを痛感してい も広く奥行も深い敍述となっている。 述べていたりして、興味は尽きず、間口 征隊の効用についても、独自の見解を の山谷を彷徨した者でも或いは彼ほど シプトンのことは会報前号にも少し そうした土地を知っていればこ

等)は章末にまとめた方がよかったこ と、また小し長い訳注(人名、植物名 た方がいいと感じた個所があったこ れたことを喜んで紹介にかえる。 また本会員の手によって、一冊加えら 訳書について見られたい。いい訳書が 触れたから再述は避けよう。宜しく本 欲を言えば、もっと思いきり意訳し

るのを附け加えておく。 ナンジェの『白嶺』(近藤等訳)があ 雪』(吉沢一郎訳) とコーガン、レイ なお同書中にティルマンの『赤道の

> ω 2

世界山岳名著全集·11

"赤道の雪" "わが半生の山々"

昭和42年6月25日発行 東京あかね書房 七八〇円

厚夫著

◇切手・世界の山めぐり◇

ものがあり、著者の解説はひろい範囲 摘記してある。手に従ってページを開 り、その間に切手蒐集に必要な注意を さらに登山者や山の動植物の切手があ ヒマラヤ登りの苦心談などをはさみ、 ジーランドの山々の切手を網羅し、極 峰、アフリカ、アメリカ大陸とニュー 会員横山君にこんな趣味があるとは知 な案内記や正確な紀行を発表している になっている。 れており、けっこう楽しめる読みもの にわたり参考書をあたってよくこなさ き、写真を眺めるとずい分めずらしい らなかった。しかも内容は北極から南 地探検やアルプス初登の歴史や逸話 極、欧洲アルブスから中央アジアの高 秩父奥多摩の山に打ちこんで、親切

節だが、シプトンほどに海外の未知

これはナンダ・デヴィ探訪の末尾の

A6判、本文二三三頁、カラー写真一 溪文庫三七、定価三二〇円。 七年七月十日、山と溪谷社発行、 六頁、本文組込み写真多数、一九六

(日高記)

Journals Arrived in June 1967—July 1967

The Canadian Alpine Journ Jahrbuch des Deutschen Al penvereins 1966.

al Volume 50, 1967 XIII N.S. No. 5~6, May~June Appalachia Bulletin Vol. XX

Sierra Club Bulletin March April-May 1967

Der Bergsteiger Nr. 3~5 März-Mai, 1967

5

Österreichische Alpenzeitung Alpinismus März Mai 1967 Folge 1356 Jänner/Februar

7.

Mazama Vol. XLVIII, No. 13 December, 1966

00

10. 9.

12. 11 Rivista Mensile Anno 88,

橋本広氏寄贈

· 7、自家出版

深田久弥氏寄贈 峰』昭4·5、雲井書店発行

深田久弥著「ヒマラヤの高峰第二、

松田雄一氏寄贈 三、五巻』昭39・9~40・10 ベースボール・マガジン社編『スポ 雪蓮

財団法人啓明会編『西蔵文化と我国

・ルペン・ヨーデルン・カメラーデン アスとマッキンレー』昭42・3

Mitteilungen des Dentschen Alpenvereins 18 Jahrgang

Trail and Timberline, No, 582 untain Club) June 1967(The Colorado Mo-

Union Internationale des Associations D'Alpinisme

寄贈図書受入報告(42・4~7

御礼申上げます。 ましたので、御報告致します。厚く 右期間内に左記図書の、寄贈があり

横山篤美氏寄贈

二~その三)昭2・1、 横山篤美著『上高地開発史』へその 自家出版。

橋本広著『画文集·山嶺抒情』昭42

沼倉憲二郎氏寄贈

沼倉憲二郎・折井健一共著『私たち の山登り』昭42・6、成美堂書店発

池元善秋氏寄贈 遠崎史朗著『海上アルプス屋久島連

ーツ年鑑 1967』昭42・6

高橋照氏寄贈

関西登高会寄贈 との関係』(複写本) 関西登高会編並発行『セントエライ

München Nov. 1966.

2, Torino, febbraio 1967.

trimestriel No. 25.

実業之日本社寄贈 (プルーガイドブックス) 百年史』昭42・7

2寺田栄一・倉島厚著『私たちの天気 予報』昭29·恒星社厚生閣

田中栄蔵氏寄贈

岳人 一九九、二〇八号

"Mostly Mischief" by H. W. Tilman

Island へ行った時だけ、豪州のパタ ら、Big Ben 山のある南極圏の Heard ネラ号に乗ったためだったのである。 チーフ号』とは妙な書名だと思った 君から送られて来た。、大部分、ミス うことになる。 マンとしては第一一番目の単行本とい この書は私の計算によると、ティル 待望の書が又、紐育にいる森脇芳之

Bay, 1963, II 1964, III Heard Island, 1964~1965 巴 East Greenland, 1965 内容は一 Bylot Island, Baffin East Greenland,

Alpenvolkes』昭·42 ン編『Lieder und Jodler des アルペン・ヨーデルン・カメラー デ

あかね書房寄贈

・諏訪多栄蔵訳『地図の空白部』昭1ヒマラヤ名著全集≪10≫シプトン著

3世界山岳名著全集≪別巻≫A・ラン 2世界山岳名著全集▲11≫シプトン著 著・馬場勝嘉・諏訪多栄蔵訳『登山 ・吉沢一郎訳他『わが半生の山々』

〇日本大学体育会山岳部

ム改装・移転報告 | ルーム改装委員会

かれましたが、現在迄 の記念パーティーも開 要を御報告致します。 の経過について記録に し、ルーム披露のため 留める意味で簡単に概 六月末日を以て完了

会報二六四号にて図

面により概要を報告し

た通りですが、ルームの内装について 電気照明関係について [学生] 三浦俊則·石川·西村·世

大の協力をえました。

ました。不備な点についてはこれから 員各位の協力により改装は一通り終り スの寄贈がありました。その他多数会 池田光二氏からは書棚のガラス等ガラ 署名机等の寄贈がありました。又会員 得、入口のドアチェック、各種内装用 は小味委員の協力をえました。 善していきたいと考えています。 逐次、ルーム担当委員会の手により改 金物、講演用テーブル、映写機用台、 は佐藤評議員(談話室内の陳列棚、ウ 念品の取付け)、写真・絵の取付につい ェストン・レリーフの取付け、各種記 松本監事からは全般に亘り、協力を

三十日の両日に行ない多数の会員各位 新ルームへの引越作業は六月十八・ ルーム引越し

謝しております。ここにご芳名を掲載 運ぶことが出来まして、係一同深く感

からお手伝いをいただき、スムーズに

央運輸)よりトラック輸送等の点で多 際しましては東大山の会の山上氏(中 に留めたいと思います。尚、引越しに してご報告をかね感謝のしるしを記録

> [OB]神崎忠男(トラック提供)中 望月重昭·竹井昇 〔学生〕 中村進・原田洋・関淳一・

新ルームへの移転は会

既に御高承の如く、

員各位の御協力により

〇明治大学体育会山岳部 誠·浅葉雄司·伊藤隆夫 [学生] 長谷川慈典、町俊一·根深 島啓、材石幸彦、山平清、 池田錦重

○慶応義塾大学体育会山岳部 [OB] 菅沢豊蔵(トラック提供

〇中央大学体育会山岳部 〇日本航空電子工業KK山岳部 牧繁録・川上忠義・朝倉博 弘之・津島克彦・滝良三

〔学生〕 井上豊秋・水島顕彦・田中

○理科大学体育会山岳部 ○東京農業大学農友会山岳部 〔学生〕 陶山幸男·小川

〇上智大学山学部

() 尚係・委員として松田雄一・宮下秀 を願いました。大塚) 樹・竹田寛次・平山善吉・関口周也 小味秀純・野上成男の各位にご協力 [OB] 岡島成行

購入備品

等の協力をえました。 務の会員武田満子氏(マップロッカー) 勤務の会員宮沢正昭氏、国土地理院勤 の購入に際しては、松方会長、文祥堂 にまとめて行ないます。尚これら備品 ついての報告は、後日の決算報告の際 に必要な備品を購入しました。金額に 新ルームには改装費の予算で次の様

引達書庫一、図書室用踏み台一、片袖 ップ・ロッカー、図書閲覧用テーブル ル付書架)一台、図書用ラック三、マ 一、図書閲覧用高級折たたみ椅子六、 [図書室用品] コンパック (移動レー 主なる購入品は次の通りです。

同上回転椅子一、 応接セット一式、

み椅子三口、黒板一、両開きキーパー 会議用折たたみテーブル八、折たた

キャビネット二、B4二段キャビネッ A4四段キャビネット一、A4二段

り、映写用スクリーン、スーパー・キ ト一、両袖机(書記用)一、同上用肘 付椅子一、片袖事務机一、其の他事務 ャビン・プロジェクターを購入しまし 京支部より解散時に継承された予算よ この他に東京支部解散記念として車

円)のみですが、募金の集まり状況を みて、購入すべく目下保留にしており したものは、電子複写機(約三十五万 尚当初購入予定しておりながら保留

を頂きました。紙上をかりて厚く御礼 各位の御協力により次の備品の寄贈

●小味秀純氏 ●寿軽工業(株)より (川森評議員、 ●東京ガス(株)より(佐藤テル氏、 Pスツール五(約一〇万円相当) 談話室用フロアー FRP(強化プラスチック)ひじ テンレスシンク(約六万円相当) け椅子四、FRPテーブル二、FR 本監事のお骨折りによるもの) 瞬間湯沸し器、(取付工事費共) 森評議員の御骨折りによるもの) ・スタンド一台 ス

80歳。 会の名誉会員、M. Kurz 逝く。 世界的な登山史家、スイス山岳

◇ルーム使用規定の変更◇

会長用片袖机一、

用に当っては左記の点に御留意願いま ましたので、今後はこの規定に基ずき ルームを使用して下さい。ルームの使 れていたルーム使用規定が変更になり い、昭和41年7月7日付を以て施行さ この度の新ルームへの移転に伴な

(1) り、午後九時までとする。 日、年末年始を除き、午前一〇時よ ルーム入口のカギは原則として、 ルーム開室時間は、 日曜、

(3) 来室者は必ず、来室者名簿に署名 以外は取扱うことができません。 して下さい。

4 事務室への入室は、原則として職

(5) される方は、別に定められた図書利 遵守して下さい。 用規定によりますので、この規定を 受けて入室して下さい。図書を閲覧 図書室は、図書担当職員の許可を

会は御遠慮下さい。 談話室は原則として会議や飲食の

用規定により有料にてお貸し致しま は会員及び会員外の使用も歓迎致し 委員会、月例会等会務のための使用 会員外の使用については、別紙使

増料金を頂きます。但しこれらの料 使用する場合には夫々五〇〇円の割 が、多人数の場合で前室をも含めて 会議室の使用料金は次の通りです スライド・プロ

祝祭

当理事に遠慮なくお問合せ下さい。

不明の点については事務所又は担

1 長らく続けてまいりましたルー

員以外は御遠慮下さい。

(7) 会議室の使用は本会の各種会議、

を優先致しますが、空いている時に

てもこれによります) ば大学山岳部OB会の会合等につい す。(当会の団体会員の使用、例え

ルーム担当理事

等を含みます。

ジェクター、映写スクリーン、テー

プレコーダー等の使用料、

冷暖房費

出下さい。)

務所に備えつけてありますからお申

(使用規定、会議室使用申込書は事

……一、五〇〇円

夜(一七・〇〇~二二・〇〇) 昼(二三・〇〇~一六・〇〇) 朝(10.00~11.00)

1、000円

....五〇〇円

職員、役員〈理事·監事、常任評議員 (8)

2 現在決っている月例会は次の通 りです。 力有難うございました。 ことになりました。長い間の御協 ムの当番制は、当分の間休止する

○第三金曜日 ○第三水曜日 ○第二水曜日 ○第二火曜日 〇第一木曜日 〇第四水曜日 月例小集会(従来の 婦人懇談会 二水懇談会 海外連絡委員会 三水会を継承) 図書委員会 定例理事·評議員会

Alpinismus, 8, 1967

Walter Bonatti (37)

行を同誌に発表したという。 頼でアラスカとカナダへ行き、その紀 ッティが、エポカという週刊雑誌の依 イタリーの登山家、ワルター・ボナ

Hermann Buhl の登山暦

と共に死んだ(一九五七年)ヘルマン められている。 ・ブールの登山暦が可なり細かくまと ットに登り、チョゴリザで雪庇の崩壊 一九二四年に生れ、ナンガ・パルバ

が本山牧

辰沼広吉氏画

☆ JU I A A 協会連合) の国際山岳 公

たいのでデレゲーションを派遣願い度 会にオブザーバーとして正式に招待し ドで開催される予定のUIAA年次総 年十月六日より、スペインのマドリー IAA事務局でも大いに関心をもち本 ディ・マイス氏とも懇談した結果、U ドイツ青年派遣団長として来日したア 再三に亘り連絡があり、本年四月には これだけ登山の盛んな日本が何故加盟 があったが、最近に至り国際的にみて い旨の連絡が届いた。 しないのかと、ドイツ山岳会を通じて かねてより、本会に対し加盟の要請

> 国際山岳協会連合加盟の件 会長 槇 有恒殿

庶務を担当しているハンス・ファーバ ー博士より七月十三日付で次の様な来 一方ドイツ山岳会会長でUIAAの

とを知りました。日本の登山家と接触 山岳会ならびに日本山岳協会があるこ 告があり、この報告から貴国には日本 を訪問したアディ・マイス氏からも報 した。この間一方では、今年四月に日本 り、その連絡事務をとる様、要請されま がUIAAに加盟されるのがよいかと を保つためには、この二者のいずれか 本に加盟して貰いたいということにな 於て討議致しました。その結果是非日 ついて、最近UIAAの執行委員会に のギュンター・ハウザー氏宛の貴翰に 「拝啓、私共は一九六七年四月十日

を送る様事務局に指示しました」。 すれば幸いです。御参考迄に規約数冊 者の組織と位置について御教示戴けま のことです。この問題を解くために両 発言をされるのが望ましいことは勿論 IAAの中では両者は一致した一つの 加盟されても差支えない訳ですが、U ます。UIAAの規約によれば両者が いうことがはっきりするとよいと思い

書信を日本山岳協会宛送る事になった 評議員会で検討された結果、次の様な 昭和42年7月8日 本件については本会の七月の理事・ 日岳発第一六号

会 社団法人 長 日本山岳会

日本山岳協会 松方三郎

d'Alpinisme)より本会宛に、日本を も加盟した方が宜しいかと存じます。 むしろ不自然でもあり、この際是非と 状からみて、日本が加盟しないことは、 や国際的となった日本の海外登山の現 待状が別添の通り届いております。今 は本会より代表を派遣願い度い旨の招 で開催される一九六七年の年次総会に り、本年十月にスペインのマドリード 代表する団体として加盟の要請があ Internationale des Associations 本部をもつ国際山岳協会連合 Union ここ数年来、スイス国ジュネープに

となっております。 され、総会に於ける議決権は一国一票 代表する山岳協会又は山岳会より構成 いということになりました。(御高承 貴協会の名で加盟することがのぞまし は日本の登山界の組織を代表している 席上、種々検討された結果、現時点で に開催された本会の理事・評議員会の 如くこの国際山岳協会連合は各国を 本件に関しましては、去る七月六日

会に出席するための返信を出す関係 貴協会に引継ぐことも可能かと存じま が何卒宜しくお願い申上げます。敬具 度く存じます。御多用中とは存じます 上、早急に何分の御意志をお示し頂き す。何れにしましても、今年の年次総

な回答があった。 昭和42年8月1日 42山岳協会発第29号 これに対し日本山岳協会より次の様

会長 日本山岳協会 槇

社団法人日本山岳会 有恒

会長 松方三郎殿 国際山岳協会連合加盟に関す る件(回答)

当会としては目下法人化の手続中でも りませんので、当会の態勢が整うまで しては去る七月二十日開催の当会常務 ご連絡のありました標記の件につきま 卒宜しくお願い申上げます。 加盟いただければ幸いと存じます。 の間、もし出来ますれば、貴会に於て あり、現時点では加盟できる態勢にあ 理事会に於いて検討致しました結果、 七月八日付、42日岳発第16号を以て 何

外連絡担当理事により十月の年次総会 会で検討の結果、本会のUIAAとの することを決定した。 定款の邦訳に着手することになり、海 リエゾンを近藤等委員にきめ、直ちに 例理事・評議員会で検討の結果、 更に八月十八日開催の海外連絡委員 この回答に基き、本会では八月の定

迄に加盟の申請手続きを行なうことに (松田

協会で加盟できる態勢が整う迄の間、 加盟が現時点では無理の場合には、貴併し乍ら種々の事情により貴協会の 本会が加盟致し、その時点で代表権を

中田、 日日 井、中屋、高山、津田、佐藤、石原、 宮下、中島、竹田、関口、 事—深田、大塚、松田、辰沼、 ▽場 〉出席者 丹部、 時 七月六日(木)六·四 川森、沼倉 監事—松本、 松方会長、三田副会長、 広谷、 本会新ルーム 0.00 酒井 評議員一折 野田、 飯野、 五. 牧

(1)ルーム改装・移転状況報告の件 ▽議事・報告事項 (以下委任)後藤、 望月、 伊藤、 島田

(2)ルーム基金募金対策検討の件 ……松田

を達成しているが、応募会員数は四分 の一である。 現在のところ募金目標額の三分の

状発送、 史学科三年生の石本朝子嬢がアルバイ り、村井米子氏の世話で、東京女子大 着手することにした。尚七月八日よ 委員会を開いて中間報告を行うと同時 委員会を開いていなかったが七月四日 第二回の募金委員会を開催して以来、 トとして募金の事務につき、集金、礼 に今後の対策、外部に対する募金にも 五月十九日に第一回、六月十五日に 報告等の事務にあたることに

でているので、この点についても考慮 その他、会員各位より分納の希望も

8 . 18

(3ルーム移転に伴う事務局員増員の件 との説明あり、本件諒承す。 したいと考えている。 人として加藤泰安理事をお願いしたい 尚、向井ビルとの契約に際し、

たので、是非採用したい旨説明あり、 独立したので、管理上どうしても専任 必要となったが、この度図書委員の野 の図書担当事務員(ライブラリアン)が の資格をもつ大越聡子嬢の紹介があっ 上成勇氏より適任者として図書館司書 新ルームになってからは、図書室が

(4)ルーム移転に伴うルーム使用規定

七月定例理事・評議員会

議事録

後(二三・〇〇~一六・〇〇)一、〇 ○・○○~一二・○○) 五○○円、 は、種々と意見もあったが、午前(一 用も認めることとしその料金について り、本件承認す。尚会員外のルーム使 の使用規定につき別紙案により説明あ 〇〇円、夜(一七・〇〇~二一・〇〇) 一、五〇〇円とすることを決める。 図書閲覧規定等検討の件、 ルーム担当宮下理事より、新ルーム

(6)本会指定山小屋制度検討の件 ことをきめる。尚会員のための披露パ (5新ルーム披露パーティー開催の件 (一一頁のルーム使用規定、参照) で、支部長会議にかけて、各支部長の 会でも検討されたが、支部の協力なく ーティーとは別に、会員外の協力者を ぎるので、九月八日(金)迄延期する 披露パーティーの時期としては、早す しては実行することが困難であるの 招待しての会を考えることにする いたが、募金状況も余り芳ばしくなく、 欠席のため常務理事会一任とする。 本件については六月の理事・評議員 七月十四日(金)に開催する予定で 尚図書閲覧規定については担当理事

めることとする。 意見を充分に聴取した上で慎重にすす 尚高山評議員より、 終戦直後にこの

保証

(7)日本山岳協会指導員推薦の件 重に考えて欲しい旨の要望があった。 定をめぐり種々と問題もあったので慎 制度があったが、八ヵ岳等ではその選 日本山岳協会公認指導員特別認定の

ては、次の様な結論に達した旨理事会 ついて検討した結果、指導委員会とし したり、指導委員会で審査の方法等に 員による拡大委員会を開いて意見を聴 員会では、この問題に関心を有する会 名である。本件について、調査研究委 に対し答申があった。即ち、 指導員該当者一一名、年令不適格者五 は第一種指導員該当者一〇〇名、名誉 より計一一六名の申請があった。内訳 ころ、予想外の反響があり、全国の会員 会報二六四号に折込みにて通知したと 希望者は七月末日迄に申請する様にと 「指導員=リーダーでないと仮定して

明確になる迄保留したらどうか」 が問題である。日山協でこの考え方が ち現在の指導員制度そのものの在り方 の審査ではとうてい不可能である。即 員=リーダーと仮定すれば、書類だけ ○そのまま提出すべしとの意見 否二つの意見が出された。 るが、それも困難である。まして指導 指導技術中心に審査することもでき て日山協宛提出すべきではないか。 これについて種々検討した結果、 は本人の希望通り、都岳連を経由 ないものについては別であるが、他 ら、希望者の内所定の条件をみたさ 志にもとずく個人の登録制であるか 現行指導員制度は、あく迄個人の意 替

①地方では一種指導員の資格をとる ②本会理事会として、指導員問題に ことは並大抵のことではないらしい ついてのはっきりした統 可能性がある。 のみで通せば、地方で問題がおころ ので、申請のあったものを書類審査

> 委員会で検討中)まとまるまで待つ とまってないのであれば、目下専門

留してもよいのではないか。 る模様なので、その結論がでる迄保 指導員制度そのものが検討されてい ③日山協でも指導員の責任等の点で

ということになった。 問題に対し、慎重に検討したら如何か しておき、その間に本会としてもこの 針が決まる迄「あずかり」の形で保留 して、日山協でこの問題についての方 等種々の意見が提出されたが、結論と

(8)支部長会議開催の件。 ととする。 各支部長の意見を聴し、参考にするこ から六○%もあるので、支部長会議で 尚いずれにしても今回の申込が地方

(12) 其の他

本会新ルームで開催することをきめ 七月十五日(土)午前一〇時より、

(9U・I・A・A加盟の件

招請状が届いた。 に日本代表として参加して欲しい旨の ンのマドリードで開催される年次総会 加盟の要請と共に、今年十月にスペイ 国際山岳協会連合より本会に対し、

るが、日本山岳協会が日本の組織体の 盟しておくべきである。 代表となった以上協会が加盟するのが いうことであればそれ迄の間本会が加 し日山協で加盟の態勢が整ってないと 書を以て要請することにする。但し若 筋であるので、その旨、日山協宛に文 しろ不自然であり、加盟すべきではあ にしても日本が加盟してないことはむ 本件につき種々検討の結果、いずれ

伽東京都岳連評議員推薦の件

今後は、各団体の推薦する評議員中上 規約、規則等が改正され、これに伴う り理事が選出されることになるので、 役員の改選が行われることになるが、 七月二日開催の都岳連評議員会で、

一見解がま

理事を満場一致推薦することに決定し 田理事より説明あり、常務理事会案と その点を考慮した上で推薦したいと松 して、推薦のあった都岳連担当の野田

理事より説明あり、本件承認す(会報 の会(部)でリーダーとして認められ なければ発行するが、団体会員の場合 ている者に限る様にしたいと担当広谷 二六六号一三頁参照 には、満二年以上その会に在籍し、そ は、個人会員の場合は会費の滞納者で 都岳連加盟団体員であることの証明書 規制地域へ入山するために発行する 谷川岳登山条例の件

催による現地小集会にして欲しい旨 寿ヵ原の文部省登山研修所で開催す 中田評議員より、来る十月七日に千 ②富山支部二十周年行事の件 見本より細くすることで、再検討し 果、色はブルーで、ネクタイの巾を の努力で準備された見本を検討の結 ①クラブ・タイの件……川森評議員 要望あり、本件諒承す。 る予定の支部の記念集会は本部と共 てみることにする。

旨発言あり、本件諒承す。 で手伝って貰うことを諒承願いたい 会報発送に際し各大学山岳部で交替 ④会報発送の件……酒井理事より、

以上

支部長会議報告

日 時 七月十五日(土) 本会会議室 ~ 五時

出席者 (越後)、荒巻 (秋田)、水野 松方会長、渡辺副会長、

> 十一名、他に委任―末松支部長、折井 議員一藤井、石原、佐藤(久)以上一 沼、大塚、松田、飯野、丹部、常任評 川支部長代理)、常務理事—深田、辰 濃)、山村(山梨支部長代理)、亀田(石 西)、中田 (東海)、 野口(東九州)、塚本 (富山)、 山本(静岡)、

議事

①信濃支部 (3)(2)(1) 各支部報告 会長挨拶 本年度理事会方針説明

していきたい。 いているが、この中から会員を増や る。支部報は定期的に出したい。尚 極についての講演会を行う予定であ は行わないが、九月二十一日、二十 員は全面的に交替した。大きな事業 信濃支部には支部準会員の制度をお 二日の両日、長野、松本に於て、南 運営方針は従来と変りないが、役

⑥東九州支部

……野口支部長

た。大分岳連との間が未だにすっき

韓国の斉州島と台湾へ登山隊を送っ

②山梨支部 されることになった。 周忌に当るが、この度遺稿集が刊行 象とした山行、二回の小集会を開催 今年の七月十九日が君島久登氏の三 会員の制度の活用を考えている。尚 る。支部員を増やすために、支部準 七日北岳の懇親山行を計画してい PRを考えたい。 八月二十六~二十 木幕碑前祭は、参加者が少ないので している。例年五月に開催している 会を行っている。年四回支部員を対 現在の支部構成員は48名、二水に例 七月九日支部総会を開催した。昨年 年かかって支部員を整理した結果 ……山村支部長代理

り会報での予告の関係上、第四水曜 ③集会係よりの要望……関口理事よ

日を月例小集会にしたいとの提案あ

熊沢 信

……塚本支部長

(中東海支部報を創刊。(これは旧来) **公図書室兼ルームを七月中に開設** 岳」とは別の対内誌。) 用としたもので、年報 の支部通信を活版にして永久保存 ……熊沢支部長 「東海山

> い今秋愛知県学生山岳連盟と共催で 二六月二十六日付愛知県山岳連盟に 対し加盟を申込。 映画と講演の会を開催する予定。

④秋田支部 的には四名しか対象者がないので、 この点は問題ない。 部分は他の団体の構成員であり実質 登録制をとっているが、支部員の大 は岳連に加盟した。秋田岳連は全員 四月六日に支部総会を開き、支部 ……荒巻支部長

⑤越後支部 とは問題なし。 名を目標にしている。県の山岳協会 未納者は四~五名しかない。二〇〇 れている。支部員一九〇名、この内 県境縦走の報告書のまとめにおわ ……藤島支部長

⑧富山支部 ⑦関西支部 は昨年スポーツマン・クラブに移転 世話役は大変である。支部のルーム 部の協力もあり二○○名を掌握する りいかず、困っている。 用しているが、来年度にはスポーツ ○~一二○人の人を集めているが、 を作ることを考えている。支部報は ことに成功したので、支部会員名簿 マン・クラブが増築するので独立の し、スポーツマン・クラブの机を借 高校の教師等を対象としたもので三 究集会の二種を行っている。後者は 苦労している。集会は支部集会と研 二○○部では広告の援助が得にくく 室を確保したいと考えている。 支部員の掌握に腐心した結果、本 ……中田支部長 ……水野支部長

親山行と、年次晩餐山行を行ってい 在支部員四十七名、行事としては懇 を決めたが、全員前年通り留任。現 る。今年は支部創立二十周年にあた 四月上旬支部総会を開催して委員

う予定である。八十名の収容人員が 原の文部省登山研修所で小集会を行 あるので各支部からの参加を期待し るので本部と共催で十月七日千寿ケ ……山本支部長

泊二日)を行い、秋には恒例の紅葉 である。静岡支部は静岡岳連に加盟 の増加を考えて準会員制度を研究中 大に行いたいと考えている。支部員 る。今年は第十回目に当るので、盛 会(十一月第二土曜)を行ってい ている。他に年四回の懇親山行へ 別館で東京の土曜会の様な会を開い 円、第二土曜日に静岡クーポールの 支部員34名、支部会費一、〇〇〇

⑩石川支部 岳連は支部の石川県山岳協会への加 の目標額は是非とも達成して欲しい 困難なので募金委員会で決めた支部 周辺の会員からだけでは目標達成は みがあるが、今回の募金は単に東京 で目標に対し四〇%の募金額の申込 盟をまって解散することになってい 事にも協力する予定である。尚石川 加盟、県体協加盟団体として県の行 現在応募人員は全会員の三分の一 ルーム移転に伴う募金の件…飯野 八月一日を以て石川県山岳協会に ……亀田支部長代理

ので、前向きに実施する方向で研究 が難かしいが、本案は本会の事業と 無人小屋もあるので、基準の作り方 には管理人のいる営業小屋の他に、 より決めたいので充分に検討願い度 明あり、この件は地元支部の意志に 旨重ねて要望があった。 することになり、山小屋委員会を組 しては意義のある事業と考えられる い旨発言あり、検討の結果、山小屋 山小屋指定制度につき検討の件。 本件につき担当の大塚理事より説

> 織して研究することになった。 委員

①理事側—渡辺、深田、大塚、 (6)日本山岳協会法人化についての説明 山梨、静岡、富山の各支部長。 大貫(事務局は大塚理事) 松田

つき説明があった。 況と法人化した後の県岳連の立場に 今回の特別認定の問題について 日本山岳協会指導員について。

松田理事より、法人化の申請手続状

求めたところ、支部によってはこの から行われたのち(七月理事・評議 に達した旨の説明が担当の辰沼理事 あったものの、種々と問題が多いの た結果、折角多数の会員から応募が 月の理事・評議員会で慎重に審議し があった。これらの意見をもとに七 では審議は尚更困難であるとの答申 ダー=指導員とすれば書類審査のみ るとしても困難である。ましてリー いと仮定して指導技術中心に審査す た。その結果リーダー=指導員でな 審査の方法について、検討も行っ なってこの問題についての学識経験 と同時に、調査研究委員会が主体と してもこの問題について再認識する は、予想以上に反響があり、本会と 員会議事録参照)、各支部長の意見を で、一時保留してはどうかとの結論 で、これらの問題点が明確になるま 者に意見を求めたり、指導委員会で

・もず鳴くや半月山のおちこちに 尾根道の初もみじ喜々と歩みけ り (日光) 初紅葉尾根ゆき尾根の岩壁に尽

き(日光

あと六首次号に掲載する (編者) 吹割滝しづかに紅葉降り積みぬ 水田健之輔)

> 乱が予想されるという意見もあっ のまま通すと、県によって大変に困 申請してきているところもあり、こ その際に選にもれた者が、直接に再 じて特別認定の申請が済んでおり、 きたところもあるが、一方県によっ 員会で慎重に審査した上で推薦して ては、既に県岳連(又は岳協)を通

の支部に差し戻して欲しいという要 る会員からの申請については、夫々 そのためには地方支部に属してい

り、運営さえ上手くやればよいとの であれば、とりあげてみるべきであ それをやることにより意味があるの が、たとえ最大公約数が低くても、 るが、学会の場合などもそうである 員一致の意見を得ることは困難であ 情が異なっているのが常であり、全 の問題は、各地方によって種々と事 意見があった。 とくに、水野支部長より、この種

開くことを提案したい。 を立てる様にしたらどうか。又、支 れらの報告をもとに本部で年度計画 の前に各支部は支部総会を開き、こ その方針に従い保留にした方がよい 件は既に理事会で保留にした方がよ 部長会議は、通常会員総会の直後に ということを再確認した。 いとの方針がでているのであれば、 (中田支部長)四月の通常会員総会 本部支部間の事務方式について。

様、本部として考えて欲しい。それ 間の連絡が充分でない様である。支 くり開いた方がよい。最近、各支部 は総会の時とは別に、もう一度ゆっ は、賛成である。しかし支部長会議 部と支部の交流関係を深められる (藤島支部長)中田支部長の意見に 通知を真面目にとりあげて支部の季

本件につき、種々検討の結果、本

講師松方三郎『富士山と私』

めの特別予算を考えて欲しい。

①事務員交替の件 ……松田理事より 解をうる。 内を出したらどうかということの諒 説明あり、まず会員各位に募集の案

の要望があった旨辰沼理事より説明 として反対運動を展開して欲しいと ケーブル建設等に対し、日本山岳会 より西穂のロープウエー、木曾駒の

4

どういう形で会に参加したいか

(武田満子)

常務理事会

したいか

3 この一年間にどのような山行が

の間に行った各自の山行

四一年四月から四二年三月まで

会員の環境について

③オットー・H・ローレンツ氏の件… 重を期したい旨の説明あり。 る。今後外国人の紹介については慎 由、担当理事としてお詫び申上げ 支部に迷惑のかかったところがある

婦人懇談会七月例会

メンバー約六十名で活動しています。 近郊を中心とした旧東京支部婦人部の して発足しましたが、とりあえず東京 今年度のスケジュールは下記のとお 婦人懇談会は新しく全国的なものと 八月十六日(水)・ルーム (十九日・ルーム)

十二月 年次晚餐会に合流、忘年会 十一月 九月二十日(水)・ルーム 二月 スキー懇親会(北八ケ岳しら 月 びそ小屋) 日光光徳小屋(きのこ狩り) 会員のお話しを聞く会 夏山報告会 富士山講習会に参加

問題をとりあげる傍ら、クラブの一員 と決りました。例会では、婦人独自の 行ないます。例会の名称は『山水会』 としてもっと視野を拡げたとい思いま 例会は、毎月第三水曜日にルームで 三月 今年度のまとめ

には支部担当理事は、支部連絡のた

とりました。

して次のようなテーマでアンケートを

六月に東京附近の婦人会員を対象と

②自然保護について ……高山評議員

日日

▽出席者 時 丹部、宮下各常務理事 深田、辰沼、大塚、松田 八月九日(木)六・三〇~ 本会ルーム 10.110

就いて貰うことにする。 異常なければ八月十五日より勤務に 院にて身体検査を行ない。その結果 用することを決める。直ちに辰沼医 が熱心に希望された永原輝雄氏を採 者に適任者ないため、会員ではある き、種々検討の結果、会員外の応募 本会書記採用の件 理事会より一任された本件につ

ては飯野理事に一任する。 より、採用する方針とし決定につい 慶大山岳部ニュージーランド登山 前回面接の佐々木、登坂両嬢の中 女子経理事務員採用の件

とを追加することに承認した。 討の結果、月曜日を休館日とするこ 隊に推薦状発行の件…承認する。 図書委員会で作成の原案につき検 図書利用規定承認の件

(「山」二六九号参照) 七月の理事・評議員会で決定され ルーム使用規定改正の件

す。女性会員はもちろん、男性会員も 加して下さるようお願いいたします。 婦人懇談会の会合その他に積極的に参

若村事務員辞表受理の件

地域別グループ討議

ことに改正し、直ちに、使用申込 用する場合は夫々五〇〇円増とする た本規定の貸室料の中、前室をも使 書、使用規定をプリントすることに (本号一一頁参照)

行われているが、室内の鍵、ロッカ ビル管理人との間には、とりきめが にし、原案を庶務担当理事が作成す ついても取扱規定を明確にすること ー、キャビネット等の鍵の取扱いに 入口の鍵の取扱いについては向井 ルームの鍵取扱いの件

の見解も成文化することにする(担 る。尚本会としてはこの件について 稿作成の上早急に連絡することにす 台湾省山岳協会訪日登山隊招聘の 申請のあった者には辰沼理事が原

②国際アルピニスト集会終了の件 の名で招聘することを諒承する。 ①北海道支部設立基準の件……深田 其の他報告事項 日本山岳協会から依頼あり、本会

緊急常務理事会

③福岡大事件中間報告の件

以上

(二六七号一〇頁参照)

▽出席者 松方会長、深田、辰沼、 日日 時 八月十二日(土)午後二時 本会ルーム (五時 大

塚、松田、飯野、丹部各常務理事 月一日より勤務につくことにする。 ることに決定。夫々八月十四日、九 事務員として佐々木光子嬢を採用す 本会書記事務員採用の件 書記として永原輝雄氏、経理担当

> 正式に受理することにし、併せて川 労金について検討した。 瀬書記、若村事務員に対する退職慰 若村事務員より提出された辞表を

会、協賛の件 フランス短編山岳映画特別鑑賞 フランス文化を識る会より来る八

易センターで開催される予定の標記 映画会に協賛名議使用方依頼あり、 月二十日、二十五日両日、フランス貿

☆第五回海外登山 技術研究会☆

ることにする。

指導員制度について検討

昭和四十二年四月二十九日から五月二 狗の湯において参加者百名を得て行わ 日まで、長野県志賀高原発哺温泉、天 れました。主な内容次の通り。 四月二十九日 日本山岳協会主催の表記研究会は、

年前 遠征におけるアルピニズム 特別講演 開会式後、 挨拶、 自己紹介 一郎

文献と地図について

を与え、討議も熱が入り、フランクな

忘れ、明け方まで続いた。尚この問題 意見の交換は気持よく、時の経つのを

については、調査の結果が分り次第、

海外登山報告 Identification I 田中 久弥

四月三十日、 ヒンズークシ四隊、イラン二隊、 南米三隊、アラスカ三隊、他一 グリーンランド、アフリカ 右 報告 Ⅱ 隊

[夜] ランタン谷の解明 [午前] 海外登山報告 討議に熱が入り、明け方まで続く。 ニュージーランド二隊 アルプス三隊、コーカサス三隊、 スキーツアー Ш

> の五グループに分れて行なう。 遠征計画発表一二隊 海外登山の諸問題 Identification

タゴニア、ネパールヒマラヤ等 ヒンズークシュ、アンデス、パ

アラスカ、カナダ、カラコルム、

遠征アラカルト

情報センターの設置 海外登山隊の調整

(芝浦工大ペルーアンデス) 遠征記録映画の上映

年前) (3) (2) (1) テーマ別グループ討議 遠征アラカルト 遠征マネージメント 地図作製に必要な問題

すべきことを痛感した。 海外に出ている現状から、山の位置、 らしても適切であり、多くの登山隊が 山名、標高など、十分に研究して出発 てとりあげたテーマは、タイミングか このことは、参加者全員に強い感銘 特に今回「ランタン谷の解明」とし

当会からの参加者は次の六十名であ を参照されたい。(年末発刊予定)又 発表の予定である。 る。(順不同、敬称略) 詳細については、協会発行の報告書

広谷光一郎、広谷精啓、深田久弥、古 広吉、古原和美、安間荘、伊藤久行、 伊東信隆、池谷有爾、池田錦重、岩坪 屋学而、松倉和義、松島利夫、松島静 大森弘一郎、長尾悌夫、原真、伴明、 五郎、上田哲農、小川武、大須賀浩、 高橋定昌、高橋照、松田雄一、辰沼

> 敬、栗林一路、黒山明彦、近藤哲也、 金井健二、金坂一郎、雁部貞夫、倉知 男、芳野赳夫、吉永定雄、加藤幸彦、 安治、山田裕紀、安川茂雄、湯浅道 村山雅美、森下健次、薬師義美、山崎 美、丹部節雄、中島道郎、脇坂誠、 竹節作太、高橋正、谷修一、千葉重 博、田中栄蔵、田村宏明、高木泰夫、 **斉藤淳生、酒井敏明、新貝勲、杉田** (大塚博美記) 大

計 報

正七年六月入会、紹介者(吉沢庄作· 石黑清蔵氏(会員番号六一三番、

年十一月、池の谷で遭難した魚津岳友 骨が三本骨折し、肺に孔があいており ヤブの中に五し六m転落。その後自力 尾根の一六○○m付近で、つまずいて 会の城・網谷両氏の遺体発見の報に接 た。享年六十九歳。 入院された翌日七月三十日急逝され で下山して直ちに入院されたが、右肋 し現場へ馳けつけた翌二十八日、小窓 本年七月二十七日、会員橋本広氏と昨 富山支部の古い会員、石黒清蔵氏は

登られていた。氏は特に自然保護に力 つづけた情熱ある活動家として、今年 部へのトンネルに反対され、又昨年の に入っても七月には単独で赤谷尾根を 来、四十年後の今日迄剣岳一筋に歩き するものである。 ある。本会は弦に謹んで哀悼の意を表 た。まことに惜しい人を失ったもので 対され、会報にも度々寄稿されてい 富山県の登山届出条例にも、大いに反 を入れ、雄山山頂社務所の改築や、黒 翌十四年池の谷右俣を 初登攀して 以 氏は、大正十三年に池の谷初下降、 遺族)富山市五番町二ノ一八

> 巻頭に掲載してある。御参照下さい。) 清蔵氏の「山登りの人造り」は前号の (編者註・遺稿となってしまった石黒 連作短歌

石黒清蔵氏を弔ふ

君が家にわがいそぎゆく夏のまち照 ちつくしつつせんすべもなし 読みかへす君が訃報に目もくれて立 広瀬 誠

いのち窮まりしとぞ かぎりなく君愛したる剣岳に君がみ すべ知らに涙落ちくも 近づきて君が死に顔をろがめばせん

りつくる日に心暗しも

大

あばら骨くだきし痛手人に告げずけ 君は屈せず立ちしとぞきく つまづきて崖下のやぶにまろび落ち

はしき山道君はくだりし

厳の如き頑健無双のみからだに若き 最後まで人に迷惑かけじとぞ帰りて もどりし気力聞き驚くも 大きなる痛手にたへつつ我が家まで のちに失せし君はや

権威には屈せぬ君が諤々の声今やな 情熱たぎり居し君 しさびしきかなや

も耳にのこれり 登山届出県条例を難じたるみ声は今

る友情示したまひき 逞しく激しき君も山の友にはあふる

の歴史に消ゆることなし 池ノ谷はじめてくだりし君の名は剣

くれて人ぞ恋しき そそりたつ剣岩山仰ぎ見る目もかき き一生を終へたまひけり ああ君はその池ノ谷につまづきて清

すめられましたので、一応お送り いたします。適当に御取捨下さい。 た三十数首のうちの十五首です。 「ぜひ山岳会の会報にでも」とす 石黒氏葬儀の折、霊前にささげ

昭和42年度

各支部総会報告

1 富山支 部

▽日時

八月八日(土)午後二時より

(1昭和41年度行事報告(主要なもの) ▽場所 10 28 富山市千歲町 富山荘 のタベ 於北日本新聞社ホ 創立60周年記念講演と映画 昭和41年度総会 於富山莊 (4昭和四十二年度行事計画

12・3~4 支部年次懇親会。於千 寿ケ原杉田屋

ンキッシュ

野平五郎氏(映画)キンヤ 1ル。 (講師) 槇有恒、牧

(2)昭和41年度収支決算報告 ▽収入之部

HOOH , I 1,000E 八三〇円 七三四円 100E 100E 三三三 ▽支出之部 行事費 寄付金 預金利息 臨時会費 支部会費(25名)…一〇、 計五 EQ 000E

印刷費 会議費 慶弔費 通信費 加盟金(富山岳協)…三、 ------.....四 000円 OOOE OOO円 九一四円 五〇〇円 四一四円 000E

選任された。

▽支出之部

行事費

……七六、三八〇円

預り金

計

九八六四

預金利息

本部還元金

会議費

通信費

.....E O

..... ······

2 信 濃 支 部

九八六四 四五〇円

九一四日 二六〇円 五三八四 四四四田

のあった全員が、左記の通り再選さ 員・監事については委員会より推薦 支部長は任期中につき改選なし。委

> ▽場所 ▽日時

> > 松本市 四月十六日

(委員) 広田靖夫、 久保田宣夫、 西

支部長 監事 木津誠一、藤平彬文、 委員 野島福三郎、山崎秀直、 常務委員 赤間義健、石坂久忠、 委員長 若林啓之助 河内清、浜田文二、青木昭三 中田勇吉(任期中) 植

開設されるのを機会に、本部小集 ので、支部ルームを開設するべく 一ヵ年の準備期間を以て計画を推 設立されて、明年が20周年に当る 千寿ケ原に文部省登山研修所が 昭和23年3月23日に富山支部が

ことを決める。尚その他の行事につ 以上二点は特別会計を以て実施する 会開催を誘致する。

(5昭和四十二年度予算案の件。 ▽収入之部 いては例年通り。 前期繰越金 ……一〇、 九一四円

0000 0000 OOO円 000E

臨時会費

.....11七、

支部会費(18名)……七、 前期繰越金 ……四、

寄付金

……五七、

(4)役員改選の件

保科文人、小林忠治、渡辺一 高橋貞利、浅輪幸久、赤羽孝一郎 山浦源太郎、中野和郎、二木計臣、 内章雄(庶務)、小林俊樹(支部報)、 (顧問) 槇有恒、 (常任委員) 金子誠吾 (会計)、堀 (副支部長) 井口謙司 (支部長) 塚本茂樹 尾崎喜八、高山忠

(2)昭和41年度収支決算報告 (1)昭和41年度事業報告 ウェストン祭はじめ大略例年通りの 事業を行った。 ▽収入之部

▽支部之部 雑収入 支部費 計 ……四一、七〇〇日 八五〇円 四五〇円 九〇〇円

雜費 交際費 会議費 涉外費 慶弔費 支部報費 合宿補助費 ………二六七円 五, ……六、四七五円 四、四五〇円 五〇〇円 八八〇円 0000 〇四〇円

宅から左記へ変更になった。 (3)支部長交替の件 (新事務所) 長らく支部長をつとめられた高山忠 長野県須坂市上中町二三九 尚これにより支部事務所は、 塚本茂樹氏が選任された。 四朗氏が勇退され、新支部長として 高山氏

(株) 塚本商店内 (電) 須坂(〇二六二四八) -040~-

昭和42年度の役員として左記各氏が ▽場所 ▽日時 (1)昭和41年度事業報告 四月二十二日

印刷·通信費……1111、 二八八四

8月上旬、 会

2月上旬 スキー講習会、於志賀高 9月上旬、県山岳協会合同登山 1月中旬 新年集会 於松本市 10月中旬 講演と映画の会(於松本 市、長野市)

画している。(日時未定) 訓練(富士山又は後立山連峰)を計 的とした懇親山行及び、積雪期登山 他に、本部及び他支部との交流を目

3 福島 支 部

昭和41年度は事業推進の原動力とな ができる。尚定例的な行事は次の通 の「20周年記念事業」の実施準備委 他に、昭和42年度中に実施する予定 った。事業としては定例的なものの 績は前年度をやや上回った程度に止 会費の完全徴収と滞納会費の一掃に る財源確保に重点をおき、所属年度 員会を結成し たこと を上げること つとめた。しかし乍ら会費納付の実

▽収入之部

增沢和三、川西山岳会代表小山正俊、 中野山岳会代表宮沢功、信州大学山 渡、清水澄、だけかんば山の会代表 牧康、市東貞雄、百瀬一茂、 下平春

(P) (H) b

19

定例総会開催

第19回県体登山部

清水悟郎、 (評議員) 高山忠四朗、小里頼忠、 百瀬孝、村上守、奥原教

(=) 12 . 23

支部忘年会開催、

23 名

(7) 11・12~13 秋山小集会を裏磐

門へ県岳連加盟団体として協力。

梯、雄国沼にて開催。20名参加

務理事)、浅輪幸久(評議員)、二木 〔県山岳協会派遣役員〕 井口謙司(常

(2)昭和41年度収支決算報告

▽収入之部

会費徵収 ……一〇一、八〇〇円

(5)昭和42年度事業計画 6・3~4 ウェストン祭、 峠越記念山行、碑前祭、記念講演

夏山合宿

▽支出之部

事務費(印刷・通信費等)

...... ……一一、一九五円

000E

雑収入

計

四八、三〇一円 八

〇八八円 六一三円

前年度繰越金

<u>=</u>

本部からの還元金四、八〇〇円

(本部会費、入会金、支部会費)

会場費

(3)昭和42年度役員改選の件 (支部長) 伊藤弥十郎 (副支部長)川又恒一 次期繰越金 本部会費納付金…七五、 遭対基金繰入……二〇、 県岳連分担金……七、111.八、 一四八、 、三〇一円 100円 三七〇円 000円 八〇七円 OOOE

(5)昭和42年度収支予算案付議 (4)昭和42年度事業計画付議 政雄(以下行事担当)、板井辰美、 安藤治(会計・庶務担当)、二階堂 大内勝男、二階堂匡一郎、添田啓 (委員) 古市義孝、吉野尚、渡辺茂、 (常任委員) 中島正夫 (監事) 斎藤音蔵、長尾幸七

会費徴収(70名) 本部よりの還付金…七、 前年度繰越金……二一、 ……一六九、 七二九円 九〇〇円 OOOH

268-1967-10	
助 部 5 費線部度の 26 山 27 12 9 合 30 山 9 29 度 沢 月 4 金 質分担 数 収 を 1 講 東 13 山 8 は 8 本 8 本 8 本 8 本 8 本 8 本 8 本 8 本 8 本	華収入三、○○○円 対 二○一、六二九円 >支出之部
(5) 宮城支部 「5) 宮城支部 「5) 宮城支部 「6) 宮城支部 「6) 関西支部 「7世景」 「7世界」 「7	# 費
41・10・5「アコンカグア南 壁の話とスライド」講師東海 支部、原真、中世古隆司両氏 大平直行氏個展の後接)41・10・2 その他支部会員を明らかにするため 関西在住会員にアンケートをとり支 部カードを整備し、支部費徴収に成 果をあげた。 ②昭和4年度収支決算報告 マ収入之部 一型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型	(総会)昭和41・6・15 於スポーツ マン・クラブ マン・クラブ
【 信 旨 会 癿 計 顕 の 部 部 入 42 全 [○] 長 42 は 白 料 連 会 支 二 会 42 次 総 総 41 支 の り 支 員 県 支 41 41	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
○日時 昭和42年7月九日十時より ○場所 甲府市山梨県蚕糸会館ホール ○出席者 三井支部長以下16名(他に委任状32名) ○ 議事 ○10昭和41年度経過報告 ○10昭和41年度収支決算報告 ○収入之部 前期繰越金一九、六〇四円 本部還元金一九、二〇四円 計 15 28 26 47 27 北岳山行 事業費一二、九二〇四円 県岳連加盟金・会費 五、〇〇四円 別の和42年度事業計画 11月 15 28 26 27 北岳山行 事業費一一、六二八円 県岳連加盟金・会費 五、〇〇四円 次期繰越金一一、六二八円 別昭和42年度事業計画 11月 15 28 26 4 27 北岳山行 事業費一一、六二八円 別昭和42年度事業計画 11月 15 28 26 27 北岳山行 東 2月 1月 二六、〇九八円 別昭和42年度事業計画 計 4年 1月 二六、〇九八円 別昭和42年度事業計画 計 4年 1月 二六、〇九八円 市前期繰越金一一、六二八円 計 八甲二六、〇〇円 下列線越金一一、六二八円 計 15 28 26 4 2 2 2 7 北岳山行 東 2 43 12 11 10 9 2 8 26 4 2 2 2 7 北岳山行 東 3 12 11 月 15 28 26 4 2 2 2 7 北岳山行 東 2 43 12 11 月 15 28 26 2 2 7 北岳山行 東 3 12 11 月 15 28 26 2 2 7 北岳山行 東 3 12 11 月 15 28 26 26 2 2 2 7 北岳山行 東 3 12 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	[8] 山梨支部 三一、五五六円 子備費六、五五六円

268-1967•10	
り 明	計 四七、四二八円 を
#禁祭費	
東山岳協会加盟費・会費 県山岳協会加盟費・会費 県山岳協会加盟費・会費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	りを深めた。 「記念登山」 「記念登りの連続であるが、全員元気にはがらついた。この山は全山原生林とはおわれ、市房神宮参道の杉の巨木をはおわれ、市房神宮参道の杉の巨木をはおわれ、市房神宮参道の杉の巨木をは高さのが、全員元気に登山、午前十一時半山頂に着き、心見橋まで往復して下山した。 「(注)この記念山行については山二大七号一四頁参照 「10昭和41年度事業報告年度最大の事業は新潟県全縦走踏査年度最大の事業は新潟県全縦走踏査年度最大の事業は新潟県全縦走踏査年度最大の事業は新潟県全縦走踏査年度最大の事業は新潟県全縦走踏査年度表が増加した。 「○○○名近くを動員した。 「20昭和41年度会計報告日本部選元金・・・・・一大、○○四本部選元金・・・・・一大、○○四本部選元金・・・・・一大、○○四本部選元金・・・・・一大、○○四本部選元金・・・・・一大、○○四本部選元金・・・・・一大、○○四本部選元金・・・・・一大、○○四本部選元金・・・・・一大、○○四本部選元金・・・・・一大、○○四日本部選元金・・・・・一大、○○○四日本部選元金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
◆ 本	平七、井口正男、田中賢一、原 ・ 大力 正男、田中賢一、原 ・ 大力 文化会館会議室にて総会を開催し 大分文化会館会議室にて総会を開催し ・ 大分文化会館会議室にて総会を開催し ・ 大分文化会館会議室にて総会を開催し ・ 大分文化会館会議事の主なものは次の通り ・ 大分文化会館会議事の主なものは次の通り ・ 大分文化会館会議事の主なものは次の通り ・ 大分文化会館会議事の主なものは次の通り ・ 大分文化会館会議事の主なものは次の通り
	マールで、大分と宮崎で隔年毎に当番、 今年は宮崎で十一月。 ◆ルーム基金募金について と前らくようすを見るが、加盟の方向 ・一、大分と宮崎で帯としていて とはらくようすを見るが、加盟の方向 ・一、大分と宮崎で第とめて会計が送金する。 ◆役員改選 ・一、大田・二年五月現在支部会員二十八名、 を計算数功氏は大分日赤病院に入院中 ・一、大田・一・田・平治岳にみやまきりしま に会報資稿用にまとめられたものもありましたが、中にはメモ程度のものもるりましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありましたが、中にはメモ程度のものもありました。正式に会報資料をもとにまとめました。正式に会報資料をもとにまとめました。正式に会報資料を表した。本面では、本面では、本面では、本面では、本面では、本面では、本面では、本面では、



35 mm からすばらしい迫力!

あなたのネガから、明快なコントラストと適切なトリ ミングで、大型・美麗・バネル張り写真を製作いたします。 ネガと返送料150円同封でご註文下されば到着後1週 間前後で製作発送いたします。

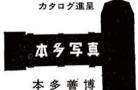
代金は着品後10日以内にご送金下されば結構です。 なお代金前払いの方には送料は弊社で負担いたします。 但し、ネガ不調のため作品にご満足頂けないと思われる場合には、ネガ、代金、返送料ともそのまま直ちにご 返送申上げます。

お気軽にネガを送って下さい

白黒の部 ■全紙半分………バネル張り ¥ 1,200 ■全紙(新聞1ページ大)……パネル張り ■全紙2倍………パネル張り 1,600 ¥ 4,000 カラーの部(ネガ、カラーに限ります) ■四切……パネル張り ■半切……パネル張り 3,000 ■全紙……パネル張り ¥ 5,000 上記以外のサイズ、または同時に多数のご註文の際はご照会下さ れば、別にお見積申し上げます。



優れた技術とハイセンスの



名古屋市熱田局区内柴田西町1-16 TEL (611) 7047

ある。よろしくら頁、しればならないので、これも一仕事である。よろしくら頁、 来て愉しい。☆それにしてもこれらのしている。「山」も当分賑やかに編集出 りたい。☆海外登山隊も続々と帰えっ っていないので、一層のご支援を賜わは必らず出すつもり。まだ満株にはな告が出ていないとおこられた。次号に 来た。それぞれに立派な成果を齎ら よろしくお願いする。(吉沢) からである。☆引越募金の報 た。会務関係がたまっていた ☆今月は久振りに20頁になっ

昭和四 頒価五十円 発行所 11-1111 編集代表

東京都千代田区神田錦 東京都港区赤坂一丁目三番六号 所 株式会社 293 振替口座東京四八二九番 日 向 井 本 七 Ľ 沢 pц ル町 岳 四

郎会

担当理

十二年十月十日発行

「山」会報編集委員の 昭和四十二年度

編集代表

酒坂竹小宮松吉 井本内方下田沢 敏矩通全秀雄 明祥雄弘樹一郎

印

刷

{堂